

特定小電力トランシーバー

TCP-U70

特定小電力トランシーバー

TCB-U700

設定マニュアル

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

KENWOOD

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

目

次

はじめて使うとき

安全上のご注意	4
各部の名称とはたらき	
子機	8
親機	
コントロール部	10
送受信部の設置と接続	12

子機だけで使う 15

子機の設定	
モードの変更	16
通常の通信	
通信テスト	17
グループ通信	18
呼び出し番号の設定	19
グループ通信のテスト	20
スクランブル通信のテスト	20

親機と子機を使う

基地局として 21

基地局1 呼び出し番号なし	23
親機の設定	24
子機の設定	25
通信テスト	26

基地局2 呼び出し番号1つ 29

親機の設定	30
子機の設定	32
通信テスト	34

基地局3 呼び出し番号2つ 37

親機の設定	39
子機の設定	42
通信テスト	44

基地局4 呼び出し番号2つ 47

親機の設定	49
子機の設定	51
通信テスト	54

親機と子機を使う

中継局として 57

親機の設定	58
子機の設定	59
通信テスト	60
親機の割り込み	62
モニター	62

親機と子機の

便利な機能 63

ランプ	64
ロック	65
コールトーン	66
ビープ音	67

販売店で設定する

便利な機能

スクランブル通話	68
3分/30秒モード	70
APO (節電機能)	72

保守・参考 74

リセット	74
困ったとき	75
オプション	77
ディップスイッチによる設定	79

はじめて使うとき p.4

子機だけで使う p.15

親機と子機を使う

基地局 (1~4) として p.21

中継局として p.57

親機と子機の 便利な機能 p.63

保守・参考 p.74

■ 絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容（表示と意味）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 危険	⚠ 警告	⚠ 注意
“誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険性が差し迫って生じることが想定されること”を示します。	“誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること”を示します。	“誤った取扱いをすると、人が損害(1)を負う可能性、または物的損害(2)のみが発生する可能性があること”を示します。

1: 損害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、火傷、感電などをさします。

2: 物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットにかかわる拡大損害をさします。

絵表示の例

⊘ 禁止 禁止（してはいけないこと）を示します。図記号の中や近くの絵や文章は、具体的な禁止内容です。

⊘ 分解禁止 分解禁止（必ずすること）を示します。図記号の中や近くの絵や文章は、具体的な強制内容です。

⚠ 注意 注意（危険、警告を含む）を示します。図記号の中や近くの絵や文章は、具体的な注意内容です。

免責事項について
商品の故障、誤動作などにより、利用の機会（通話など）を逸したために発生した障害などの付随的損害については、当社は一切その責任を負いかねます。

はじめて使うとき

⚠ 危険

■ 電池パックの取り扱いについて

電池パックは次のことを守らないと、けがや電池を漏液、発火、発熱、破裂させる原因となりますので、下記のことを必ずお守りください。

- 充電温度範囲は、5℃～40℃です。この温度範囲以外では充電しないでください。
- 専用充電器以外では充電しないでください。
- 指定以外のニカド電池は、使用しないでください。
- 本機以外の機器に取付けしないでください。
- 火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしないでください。
- プラス端子⊕とマイナス端子⊖の間を金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- 液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
- 液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

■ 親機の送受信部について

- 高所作業の際は、安全ベルトで身体を確保してください。
- 屋外に設置する場合は、避雷器を設置してください。

⚠ 警告

■ 使用環境・条件

- 交通安全上、運転しながら交信するのはおやめください。
- 電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。
- 航空機内、空港敷地内、新幹線車内、中継局周辺では、絶対に使用しないでください。（電源も入れないでください。）運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたすおそれがあります。
- この製品を使用できるのは、日本国内のみです。外国では使用できません。

■ 充電器の取り扱いについて

- AC100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- タコ足配線はしないでください。過熱・発火の原因となります。
- 濡れた手でACコードのプラグに触れたり、電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグはACコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。
- 電源プラグの刃にほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや過熱により火災や感電の原因になります。

■ 使用方法について

- この製品は布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。

- この製品に水をかけたり、水が入ったり、ぬらさないよう、ご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。
- 水などで濡れやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- この製品の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
- この製品は調整済です。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。


■ 異常時の処置について

- 内部に水や異物が入った場合や、落としたり、ケースを破損した場合、または異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの、異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電池パックを外し、充電中はプラグをACコンセントから抜き、煙は出なくなるのを確認してから、お買上げの販売店にご連絡ください。お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。
- 雷が鳴り出したら、安全のため早めに電源スイッチを切り、充電中はプラグをACコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

■ 保守・点検

- この製品のケースは開けないでください。感電・けが・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買上げの販売店にご依頼ください。

はじめて使うとき


注意

■使用環境・条件

- テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。
- 直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。
- 湿気の多い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。



■充電器の取り扱いについて

- 充電器のコードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 充電器のACアダプタを抜くときは、必ず本体を持ってください。コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災・感電・故障の原因となることがあります。



■使用方法について

- アンテナを誤って目にささないようにしてください。
- SP・MIC端子にはオプションのスピーカーマイク以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。



- 旅行などで長期間使わないときは、電源スイッチを切り、電池パックを外して、充電器はACアダプタをACコンセントから抜いてください。



■保守・点検

- お手入れの際は、電源スイッチを切り、電池パックを外して、充電器はACアダプタをACコンセントから抜いてください。
- 水滴が付いたら、乾いた布でふき取ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンは使用しないでください。



電波法に関するご注意

- 子機の裏面の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。使用できなくなります。
- 他人の通信を聞いて、これを漏らしたり、窃用することは電波法により禁止されています。

- 電波の届く距離は地形や環境によって大きく異なりますが、目安は
市街地なら 100~200m
郊外なら 1~2km です。
- 建築物が多い地域や、自動車などの金属物体の周辺では、通信距離が短くなります。
- 子機は日常生活防水です。多少の水滴がかかったり、濡れた手で使っても安全です。(JIS保護等級4 防まつ形相当)
* ただし水をかけたり、水の中に落としたりすると故障の原因になります。

乾電池は、使いかたを誤ると破裂や破損、液もれの原因となります。次の注意事項を必ず守ってお使いください。

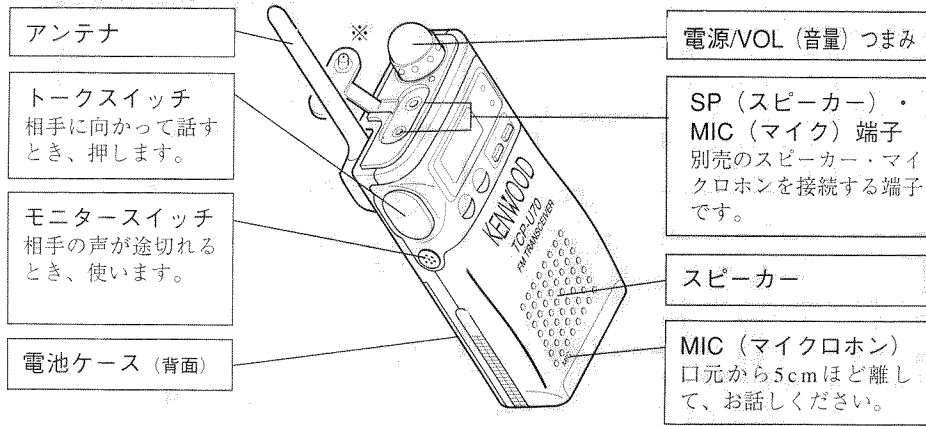
- 使用した乾電池と、新しい乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 必ず3本とも、同じ種類の電池を使用してください。
- 充電式でない乾電池は充電しないでください。
- 長期間使用しないときは、電池ケースから取り出してください。

★市販の単3型充電式電池について

単3型充電式電池は使用しないでください。端子や電池被覆がショートして発熱し、電池ケースや本体が壊れることがあります。

はじめて使う

各部の名称とはたらき
子機

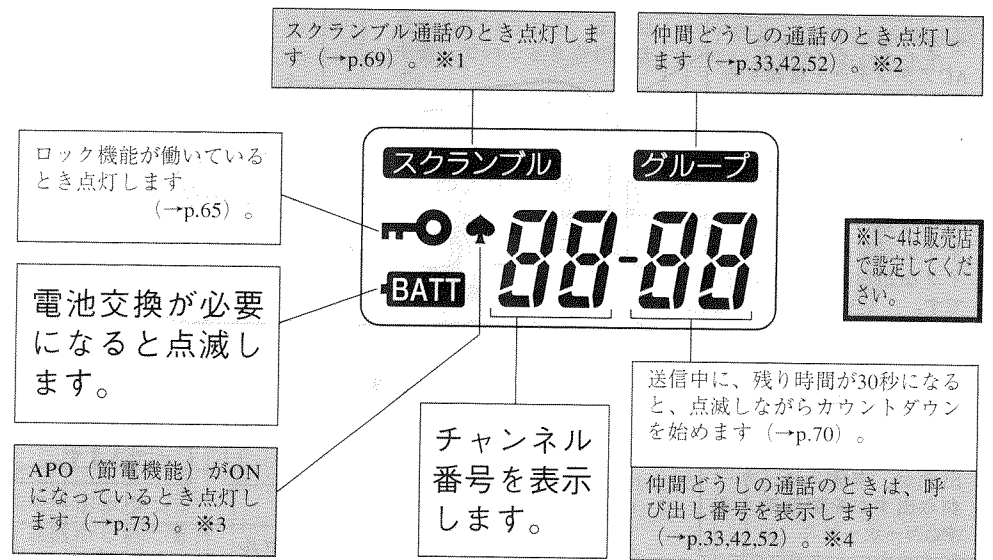


※ ゴムキャップを開けているときは、日常生活防水にはなりません。

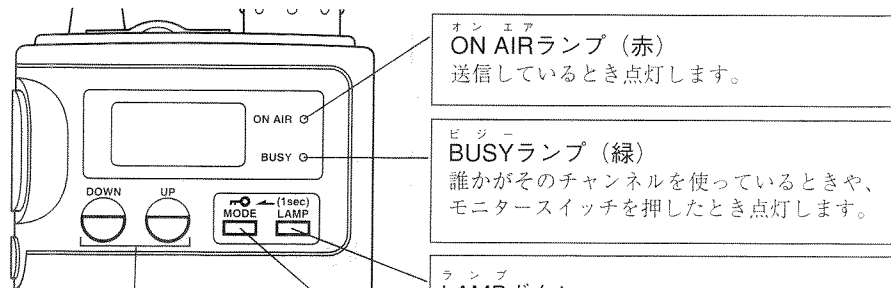
はじめて使うとき

はじめて使う

各部の名称とはたらき
子機・・・ディスプレイ



はじめて使うとき



チャンネルボタン
押すたびにチャンネルが切り換わります。押し続けると、連続的に切り換わります。

UPボタン:
01→02→03...と切り換わります。

DOWNボタン:
01→11→10...と切り換わります。

ロックボタン ((1sec))
間違ってもチャンネルなどが変わらないようにするボタンです。(→p.65)

はじめて使う

各部の名称とはたらき
親機..... コントロール部の前面と背面

アダプター入力端子
ACアダプターを接続する端子です。

電源スイッチ

外部スピーカー/
マイク端子
オプションのリモコンマイクなどを接続する端子です。

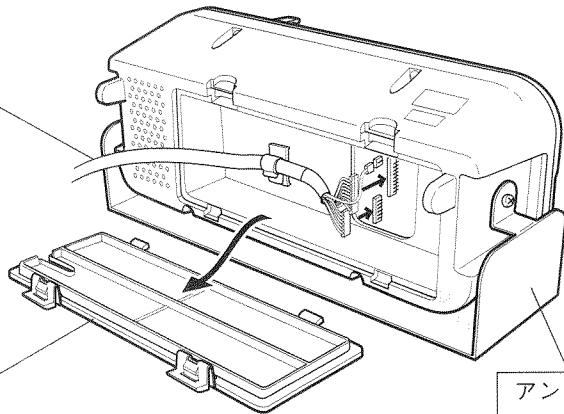
スピーカー切換え
スイッチ
音声をマイクロホンから出すか、本体スピーカーから出すかを切り換えます。

チャンネル/トーン切換え
スイッチ
ダイヤルを、チャンネルの設定に使うか、呼び出し番号/中継番号の設定に使うかを、切り換えます。

(チャンネル/トーン)ダイヤル
チャンネルや、呼び出し番号を切り換えます。
・時計回りに回すと：
01→02→03... (チャンネル・呼び出し番号/中継番号共通)と切り換わります。
・逆回りに回すと：
01→11→10... (チャンネル)
01→OF→38... (呼び出し番号/中継番号)と切り換わります。

ケーブルとコネクタ部
先端に3つのコネクタがあり、送受信部と接続します。(→p.14)。
2Pはアース端子です。必ず接続してください。

背面カバー



アングル

はじめて使う

各部の名称とはたらき
親機..... コントロール部のボタンとディスプレイ

受信ランプ(緑)
受信中や、誰かがあなたと同じチャンネルを使っているとき、モニタースイッチをONにしたとき点灯します。

送信ランプ(赤)
送信しているとき、または中継しているとき点灯します。

中継ランプ
子機どちらの通話を中継しているとき、点灯します。

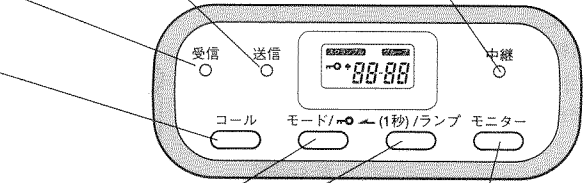
コールボタン
マイクのトークスイッチを押しながらこのボタンを押すと、電話のような音で相手を呼び出せます(→p.66)。

モードボタン
通話のしかたをグループ通話またはスクランブル通話に切り換えます(→p.68)。

スクランブル通話のとき点灯します(→p.68)。

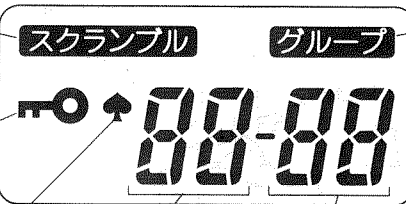
ロック機能が働いているとき点灯します(→p.65)。

APO(節電機能)がONになっているとき点灯します(→p.72)。



ランプ/ロックボタン
★ ランプボタン
ディスプレイランプが点灯し、暗いところでも見やすくなります(→p.64)。
★ ロックボタン
間違えてチャンネルなどが変わらないようにするボタンです。1秒以上押してからモードボタンを押すと、機能がロックされます(→p.65)。

モニターボタン
相手の声が途切れるとき、使用します。中継局モードの時は、スピーカーのON/OFFスイッチとして働きます(→p.62)。



呼び出し番号(基地局モード)または中継番号(中継局モード)を使った通話のとき点灯します。

チャンネル番号を表示します。

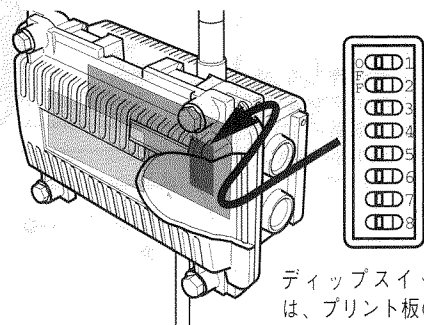
通常は、呼び出し番号(基地局モード)または中継番号(中継局モード)を表示します。送信中に、残り時間が少なくなると、点滅しながらカウントダウンを始めます(→p.70)。

■ 梱包品一覧

- ・コントロール部 1
- ・ACアダプター 1
- ・送受信部 1
- ・取付板 1
発砲材の下に梱包されています。
- ・U字ボルトとねじセット 1
U字ボルトはφ40～φ60mm用です。
- ・ケーブル 約50m
- ・アングル 1
- ・アングル用ねじセット 1
- ・バックング 4
- ・取扱説明書 1

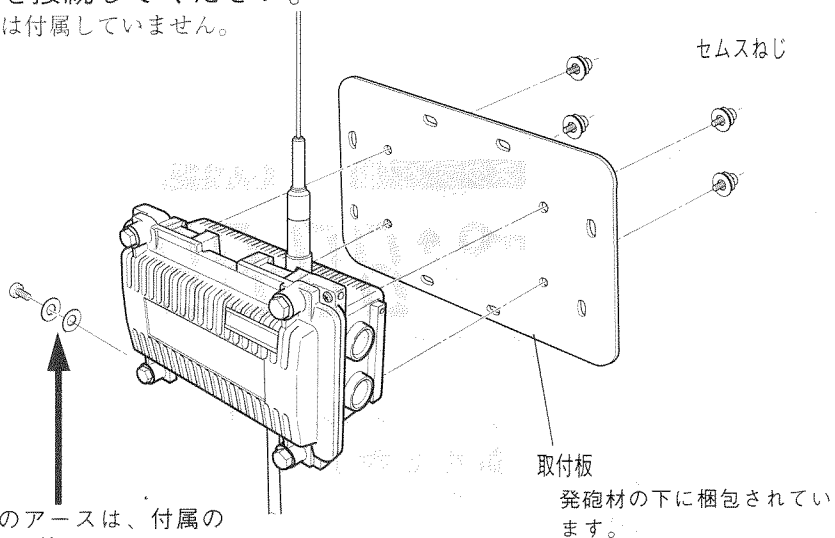
■ ディップスイッチ

送受信部内部の大きいプリント板の裏面に、機能設定用のディップスイッチがあります。あらかじめ必要な機能を設定してから、送受信部を設置してください。



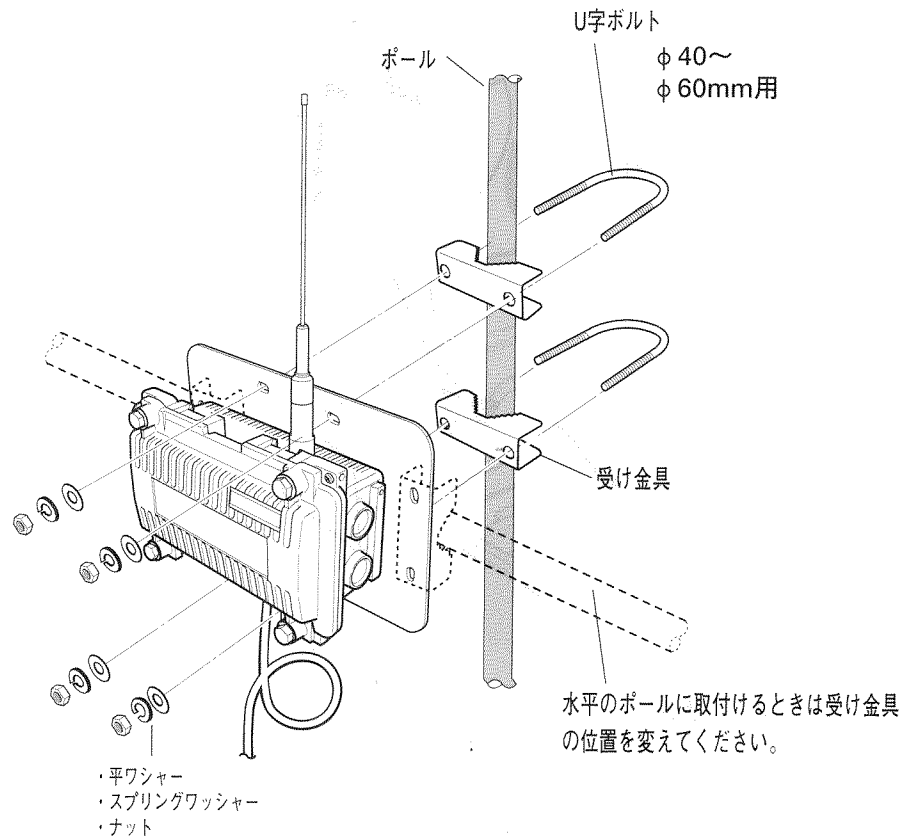
ディップスイッチは、プリント板の裏面にあります。

1 送受信部を、セムスねじ (M5) で取付板に固定します。必ずアースを接続してください。アース線は付属していません。



きょう体のアースは、付属のワッシャーを使用すると、ここから取ることもできます

2 U字ボルトと受け金具でポールを2箇所挟みます。取付板にU字ボルトを通し、平ワッシャーとナット (M6) で4箇所固定します。

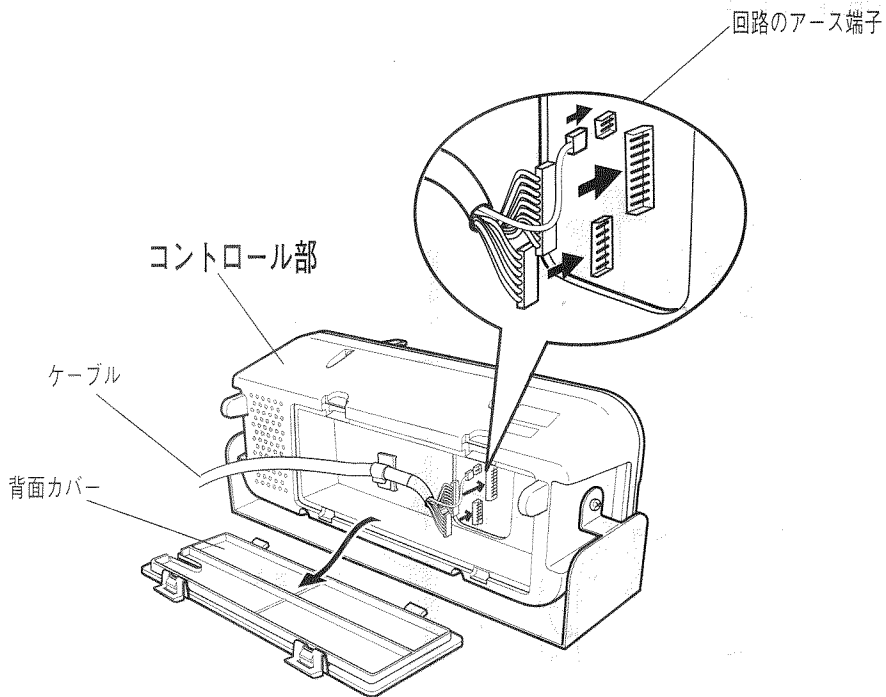


- ★ ケーブルは市販のバインド等でしっかり固定してください。
- ★ 高所作業の際は安全ベルトで身体を確保してください。
- ★ 屋外に設置する場合は、避雷器を設置してください。

はじめて使うとき

はじめて使うとき

3 ケーブルの3つのコネクタを、コントロール部の背面カバー内部の端子に接続します。



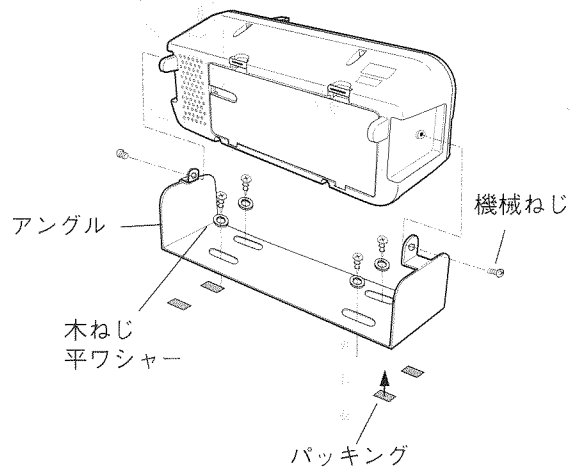
はじめて使うとき

コントロール部の固定

コントロール部は、アングルにねじ止めすると、安定します。

台がすべりやすいときは、アングルの底面に、付属のパッキングを張り付けてください。

アングルは付属の木ねじで台に固定することもできます。



子機だけで使う

子機だけで使う

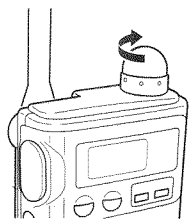
TCP-U70の初期設定は中継モードです。子機だけで使うときは、必ず下記の手順でモードを変更してください。

モードの変更

- 1 VOL (ボリューム) つまみを回して電源を入れます。

*VOLつまみは音量調整もできます。

工場出荷時の本機は「duP→01-01」という表示が出ます。これは中継モードなので、いったん電源を切ります。

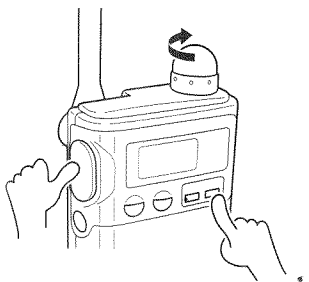


時計まわりに回す。電源を切るときは反対方向に。



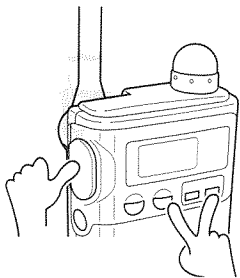
- 2 トークスイッチと、ランプボタンを押しながら、電源を入れます。

*トークスイッチとランプボタンは押したままで3へ進みます。



- 3 トークスイッチとランプボタンを押しながら、UPボタンを押します。

スイッチを放すと、「SPL→01」という表示が出ます。これで、子機どうしの通話ができます。



TCP-U70の初期設定は中継モードです。子機だけで使うときは、あらかじめ前ページの手順でモードを変更してください。

- 1 VOL (ボリューム) つまみを回して電源を入れます。

*VOLつまみは音量調整もできます。

工場出荷時の本機は「duP→01-01」という表示が出ます。これは中継モードなので、前ページの手順でモードを変更してください。

- 2 UPボタンまたは、DOWNボタンで01～11までのチャンネルを選びます。

UPボタン:
チャンネル番号が01→02→03...と切り換ります。

DOWNボタン:
チャンネル番号が01→11→10...と切り換ります。

- 3 受信すると相手の声が聞こえてきます。BUSYランプが緑に点灯します。

- 4 トークスイッチを押しながら話します。

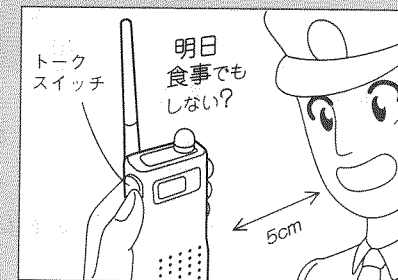
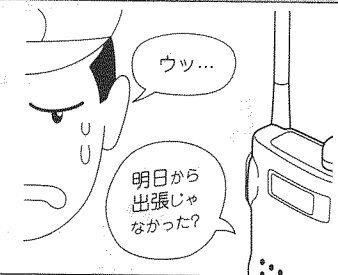
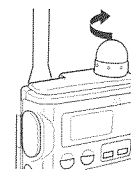
ON AIRランプが赤く点灯します。

* BUSYランプ (緑) が点灯しているときは、トークスイッチを押しても、警告音が鳴り、話せません。

* 口をマイクから5cmほど離してお話ください。

* 1回に話せる時間は3分です。残り時間が30秒になると、カウントダウン表示でお知らせします。

時計まわりに回す。電源を切るときは反対方向に。



■ グループ通話

大きな作業エリアで、たくさんのグループが連絡を取っていると、偶然同じチャンネルをセットすることもあります。すると、そのグループの話も聞こえてきてしまいます。これでは、自分のグループなのか、ほかのグループなのか混乱します。

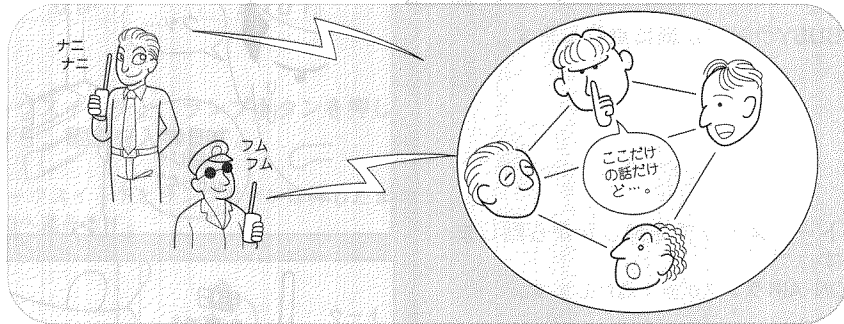


こんなときは呼び出し番号を使う

こんなときは、自分の仲間の話だけが聞こえるように仲間だけの呼び出し番号を設定します。呼び出し番号の設定については、p.19、通話方法は、p.20をご覧ください。

■ スクランブル機能

呼び出し番号を使えば、他のグループの話は聞こえなくなるので、安心してしまいがちです。ところが、同じチャンネルを使っているグループにはみんな聞こえています。



マル秘事項ももらさずガード!

仲間の声以外は聞きたくない、聞かれたくない...というときは、呼び出し番号に加えて、スクランブル機能をお使いください。

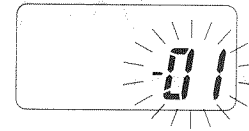
*ただし、同様にスクランブル設定をしたグループには聞こえます。極秘事項の通話には適していません。

グループ通話やスクランブル通話をするためには、全員に同じ呼び出し番号をセットします。番号は01~38まで。あらかじめどの番号を使うか、決めておいてください。呼び出し番号で話すときは、p.20をご覧ください。

呼び出し番号の設定

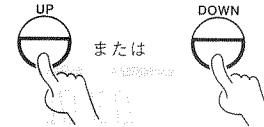
例) チャンネル01で、呼び出し番号08を設定する

- 1 モードボタンを押しながら、電源を入れます。



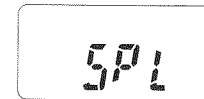
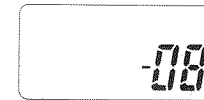
番号が点滅します。

- 2 08が出るまで、UPまたはDOWNボタンを押します。



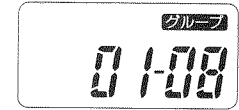
番号が点滅し始めたなら10秒以内にUPまたはDOWNボタンを押してください。セットに失敗したら、1の手順からやり直してください。

- 3 モードボタンを押します。



呼び出し番号が確定し、「SPL→チャンネル番号」に表示が変わります。

- 4 確認のため、モードボタンを1秒以上押します。



ディスプレイにチャンネルと、セットした呼び出し番号があらわれます。

呼び出し番号を消す

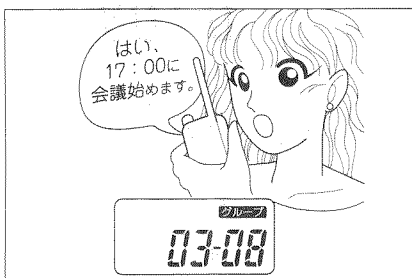
- 1 モードボタンを押しながら、電源を入れます。
- 2 「-OF」が出るまで、UPまたはDOWNボタンを押し続けます。
- 3 モードボタンを押します。

「-OF」が確定し、「SPL→チャンネル番号」というように表示が変わります。これでグループ番号はOFFになり、呼び出し番号は解除されました。

スクランブル通話の設定については、p.20をご覧ください。

呼び出し番号を「08」に設定してある例

- 1 UPまたは、DOWNボタンでチャンネルを選びます。
- 2 トークスイッチを押しながら話します。
同じ呼び出し番号の仲間の声だけが聞こえます。



* BUSYが点灯しているのに声が聞こえないときは、他のグループが同じチャンネルを使っています。BUSYが消えるのを待って、お話しください。

- ★呼び出し番号を設定してあっても、使わないで話すこともできます。
モードボタンを1秒以上、2回押しします。
・1回押しと…

「スクランブル・グループ」という表示になります。



・もう1回押しと…
チャンネル番号だけの表示になります。この状態でお使いください。



呼び出し番号を「08」に設定してある例

- 1 UPまたは、DOWNボタンでチャンネルを選びます。
- 2 モードボタンを1秒以上、2回押しします。
「スクランブル・グループ」になり、グループ内のマル秘事項を、他のグループに漏らさずに話し合えます。



- 3 トークスイッチを押しながら話します。



* グループ以外の人でも、同じチャンネル、同じ呼び出し番号で、スクランブルを使用している人には聞こえます。

- ★スクランブルを使わないで話すときは、モードボタンを1秒以上押しします。
・1回押しと…
チャンネル番号だけの通話になります。



・もう1回押しと…
スクランブルを使わない、仲間どうしの通話になります。



親機と子機を使う

基地局1~4

基地局としての使いかた

TCB-U700は、チャンネル番号だけを使う基地局のトランシーバーとして、TCP-U70とまったく同じ使い方もできます（基地局1）。

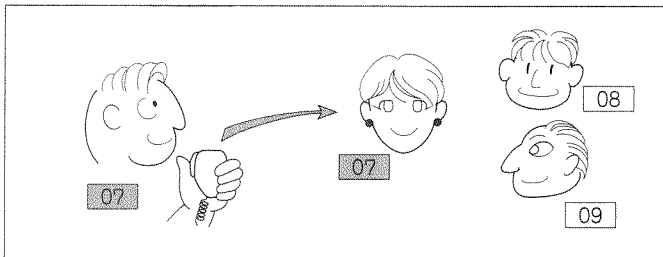
「呼び出し番号」を設定すると、TCP-U70（子機）を1台ずつ呼び出す「個別呼び出し」や、子機全部を一斉に呼び出す「一斉呼び出し」が簡単にできます（基地局2）。さらに、呼び出し番号を2つ使うと、あるときは個別呼び出し、別のときは一斉呼び出しに、簡単に切り換えられます（基地局3,4）。



呼び出し番号

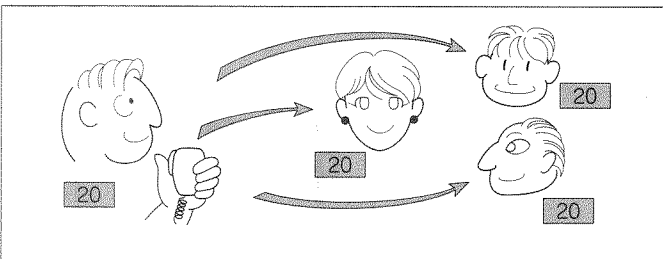
● 1台ずつ別々に呼び出す場合は…

子機ごとに1つずつ異なる呼び出し番号をつけます…個別呼び出し



● 子機全部を同時に呼び出す場合は…

子機全部に同じ1つの呼び出し番号をつけます…一斉呼び出し



● 呼び出し番号を2つ使うと…（基地局3,4）

あるときは個別呼び出し、別のときは一斉呼び出しに、簡単に切り換えられます。親機と子機の通話形態によって「呼び出し番号」の設定方法が変わります。

親機と子機を使う

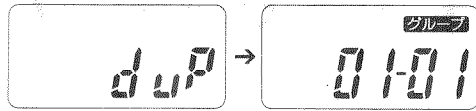
基地局 1

呼び出し番号を使わない通信

基地局1

呼び出し番号を使わない通信
親機の設定・・・基地局/中継モードの変更

工場出荷時のTCB-U700の電源を入れると、「duP→01-01」という表示が出ます。これは中継局として使うときの表示です。いったん電源を切ってください。



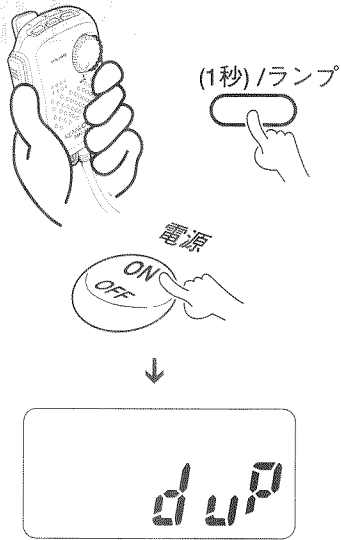
←これは中継モードの表示です。
←リセットをした場合も同じ表示になります。

モードの変更

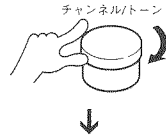
マイクロホンはオプションです (→p.77)。

1 マイクロホンのトークスイッチと、本体のランプスイッチを押しながら、電源スイッチをONにします。

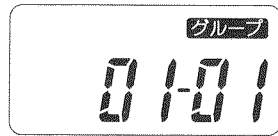
*マイクのトークスイッチは押したまま2へ進みます。



2 マイクのトークスイッチを押しながら、「SPL」と出るまでダイヤルを回します。



ディスプレイに「SPL」という表示が出たら、トークスイッチを放します。

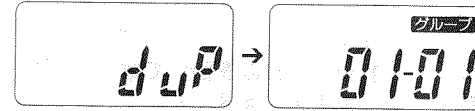


これで、親機は基地局モードになりました。

基地局1

呼び出し番号を使わない通信
子機の設定・・・基地局/中継モードの変更

TCP-U70の初期設定は中継モードです。 基地局の子機として使うときは、必ず下記の手順で基地局モードに変更してください。



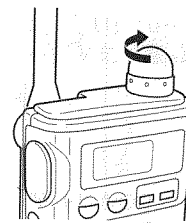
←これは中継モードの表示です。
←リセットをした場合も同じ表示になります。

モードの変更

1 VOL (ボリューム) つまみを回して電源を入れます。

*VOLつまみは音量調整もできます。

工場出荷時の本機は「duP→01-01」という表示が出ます。これは中継モードなので、いったん電源を切ります。

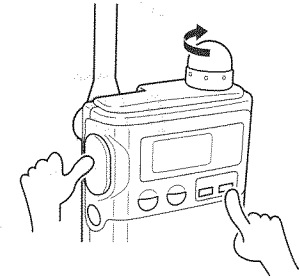


時計まわりに回す。電源を切るときは反対方向に。



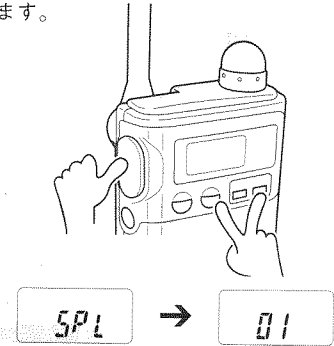
2 トークスイッチと、ランプボタンを押しながら、電源を入れます。

*トークスイッチとランプボタンは押したまま3へ進みます。



3 トークスイッチとランプボタンを押しながら、UPボタンを押します。

スイッチを放すと 「SPL→01」という表示が出ます。



これで、基地局モードになりました。

親機と子機を使う

1

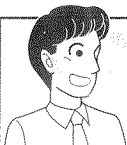
基地局1

親機と子機を使う

1

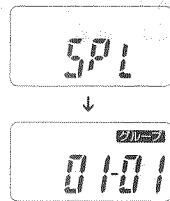
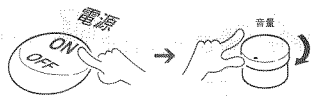
基地局1

呼び出し番号を使わないときは、チャンネルを合わせるだけで通信できます。
例) チャンネル「03」で使用する場合。



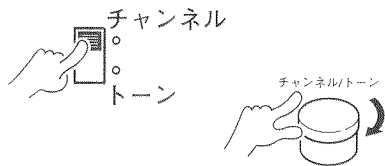
親機

- 1 電源をONにし、音量つまみを時計回りに回して、音量を調整します。



ディスプレイには「SPL→01-01」という表示が出ます。

- 2 チャンネル/トーン切換えスイッチを「チャンネル」にし、ダイヤルでチャンネルを合わせます。ここでは、「03」にします。

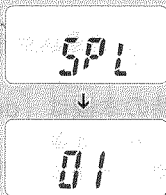


時計回りに回すと：
番号が01→02→03…と切り換わります。
反対に回すと：
番号が01→11→10…と切り換わります。



子機

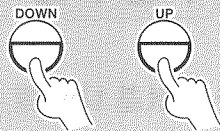
- 1 VOLつまみを回して電源を入れます。
* 音量調節もできます。



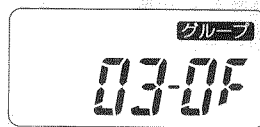
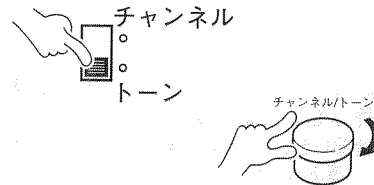
ディスプレイには「SPL→01」と表示されます。

* 「duP→01-01」と出るときは、セットし直します(→p.25)。

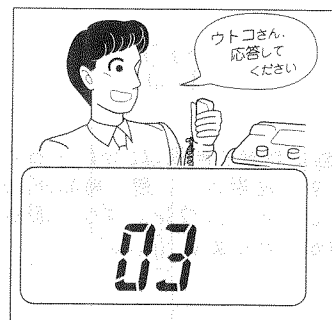
- 2 UPまたは、DOWNボタンでチャンネルを選びます。親機に合わせて、「03」を使います。



- 3 チャンネル/トーン切換えスイッチを「トーン」にし、「OF」が出るまでダイヤルを回します。

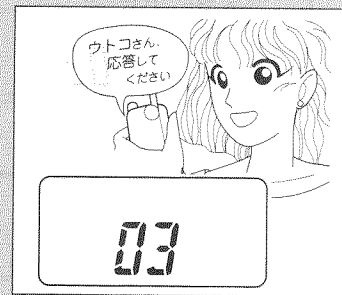


- 4 マイクロホンのトークスイッチを押しながら話します。送信ランプが赤く点灯します。



- * 通話は親機から始めるようにします。
- * 受信ランプ(緑)が点灯しているときは、トークスイッチを押しても警告音が鳴り、話せません。
- * 1回に話せる時間は3分になっています(初期値)。残り時間が30秒になると、カウントダウン表示でお知らせします(→p.70)。

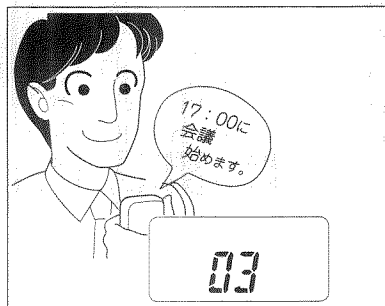
親機から声が聞こえてきます。
BUSYランプが緑に点灯します。



親機側の話が終わると、BUSYランプが消えます。

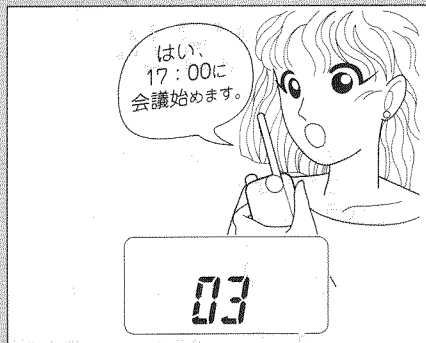
5 話し終わったら、トークスイッチを放します。

子機からの声が聞こえてきます。受信ランプが緑に点灯します。



BUSYランプが消灯します。

3 返事するときは、トークスイッチを押しながら話します。
 *BUSYランプ（緑）が点灯しているときは、トークスイッチを押しても警告音が鳴り、話せません。



*1回に話せる時間は3分になっています（初期値）。残り時間が30秒になると、カウントダウン表示でお知らせします（p.70）。

親機と子機を使う

基地局 2

呼び出し番号を1つ使った通信

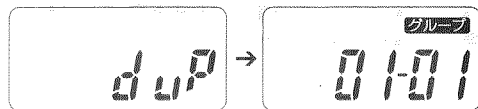
通信テストはうまくいきましたか？

- ・よく聞こえないときは、音量つまみをもう一度調整します。
 - ・緑のランプが点灯しているときは、トークスイッチを押しても警告音がなり、話せません。
 - ・話すときは口からマイクを5cmほど離してください。
- それでもうまくいかないときは、p.75をごらんください。

基地局2

呼び出し番号を1つ使う通信
親機の設定・・・基地局/中継モードの変更

工場出荷時のTCB-U700の電源を入ると、「duP→01-01」という表示が出ます。これは中継局として使うときの表示です。いったん電源を切ってください。



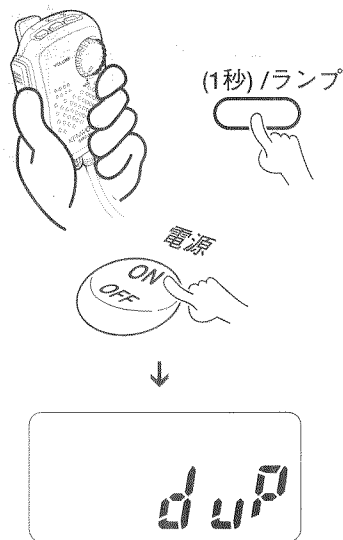
←これは中継モードの表示です。
←リセットをした場合も同じ表示になります。

モードの変更

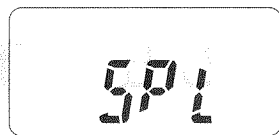
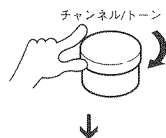
マイクロホンはオプションです (→p.77)。

1 マイクロホンのドークスイッチと、本体のランプスイッチを押しながら、電源スイッチをONにします。

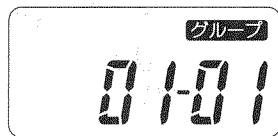
*マイクのトークスイッチは押したまま2へ進みます。



2 マイクのトークスイッチを押しながら、「SPL」と出るまでダイヤルを回します。



ディスプレイに「SPL」という表示が出たら、トークスイッチを放します。



これで、親機は基地局モードになりました。

基地局2

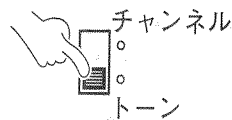
呼び出し番号を1つ使う通信
親機・・・呼び出し番号の設定/チャンネルの変更

呼び出し番号を1つしか使わないときは、チャンネル/トーン切換えスイッチを「トーン」にしておくと、ダイヤルを回すだけで呼び出し番号が「01」から「38」まで簡単に変わります。

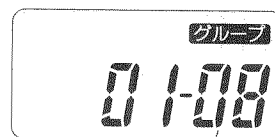
例) チャンネルを「03」、呼び出し番号を「08」にします。

呼び出し番号の設定

1チャンネル/トーン切換えスイッチを、「トーン」に切り換えます。



2 ダイヤルを回して呼び出し番号を「08」に設定します。



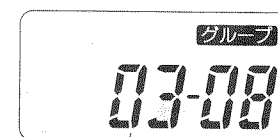
呼び出し番号が変わります。

チャンネルの変更

1チャンネル/トーン切換えスイッチを、「チャンネル」に切り換えます。

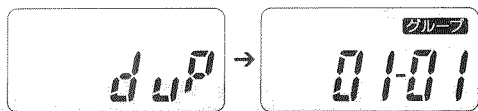


2 ダイヤルを回してチャンネルを「03」に設定します。



チャンネルが変わります。

TCP-U70の初期設定は中継モードです。基地局の子機として使うときは、必ず下記の手順で基地局モードに変更してください。



←これは中継モードの表示です。
←リセットをした場合も同じ表示になります。

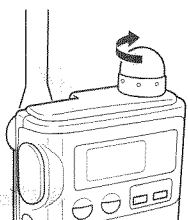
モードの変更

- 1 VOL (ボリューム) つまみを回して電源を入れます。

*VOLつまみは音量調整もできます。

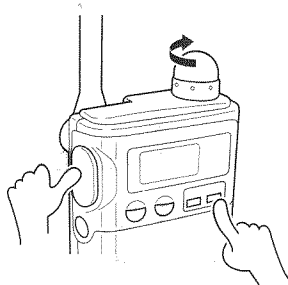
工場出荷時の本機は「duP→01-01」という表示が出ます。これは中継モードなので、いったん電源を切ります。

時計まわりに回す。電源を切るときは反対方向に。



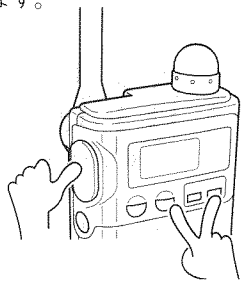
- 2 トークスイッチと、ランプボタンを押しながら、電源を入れます。

*トークスイッチとランプボタンは押したままで3へ進みます。



- 3 トークスイッチとランプボタンを押しながら、UPボタンを押します。

スイッチを放すと、「SPL→01」という表示が出ます。



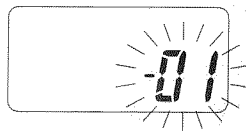
これで、基地局モードになりました。

呼び出し番号は01～38までです。あらかじめどの番号を使うか、決めておいてください。

呼び出し番号の設定

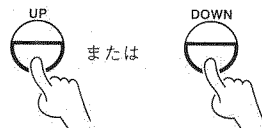
例) チャンネル01で、呼び出し番号08を設定する

- 1 モードボタンを押しながら、電源を入れます。



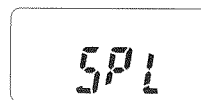
番号が点滅します。

- 2 08が出るまで、UPまたはDOWNボタンを押します。



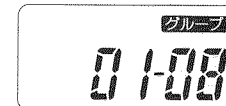
番号が点滅し始めたら10秒以内にUPまたはDOWNボタンを押してください。セットに失敗したら、1の手順からやり直してください。

- 3 モードボタンを押します。



呼び出し番号が確定し、「SPL→チャンネル番号」に表示が変わります。

- 4 確認のため、モードボタンを1秒以上押します。



ディスプレイにチャンネルと、セットした呼び出し番号があらわれます。

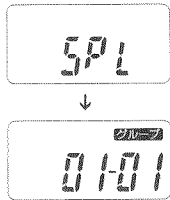
呼び出し番号を消す

- 1 モードボタンを押しながら、電源を入れます。
- 2 「-OF」が出るまで、UPまたはDOWNボタンを押し続けます。
- 3 モードボタンを押します。

「-OF」が確定し、「SPL→チャンネル番号」というように表示が変わります。これでグループ番号はOFFになり、呼び出し番号は解除されました。

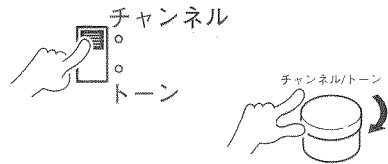
親機

- 1 電源をONにし、音量つまみを時計回りに回して、音量を調整します。

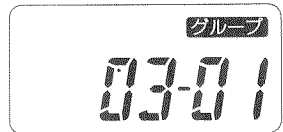


ディスプレイには「SPL→01-01」という表示が出ます。

- 2 チャンネル/トーン切換えスイッチを「チャンネル」にし、ダイヤルでチャンネルを合わせます。ここでは、「03」にします。

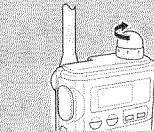
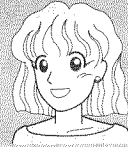


時計回りに回すと：
番号が01→02→03…と切り換わります。
反対に回すと：
番号が01→11→10…と切り換わります。



子機

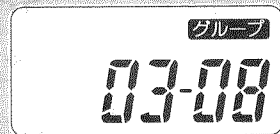
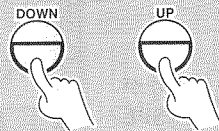
- 呼び出し番号を「08」に設定してある例
1 VOLつまみを回して電源を入れます。
*音量調節もできます。



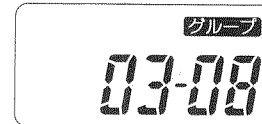
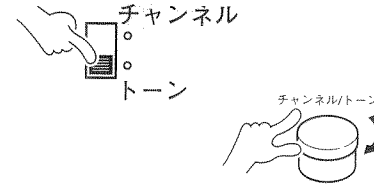
ディスプレイには「SPL→08」と表示されます。

*「duP→01-01」と出るときは、セットしなおしてください(→p.32)。

- 2 UPまたは、DOWNボタンでチャンネルを選びます。親機に合わせて、「03」を使います。



- 3 チャンネル/トーン切換えスイッチを「トーン」にして、「08」が出るまでダイヤルを回します。



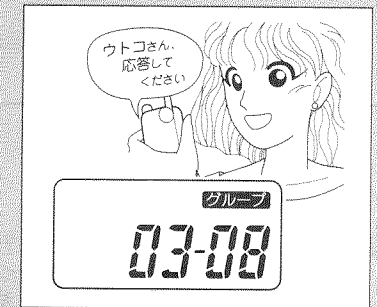
- 4 マイクのトークスイッチを押しながら話します。送信ランプが赤く点灯します。



- * 通話は親機から始めるようにします。
- * 受信ランプ(緑)が点灯しているときは、トークスイッチを押しても警告音が鳴り、話せません。
- * 1回に話せる時間は3分になっていません(初期値)。残り時間が30秒になると、カウントダウン表示でお知らせします(→p.70)。

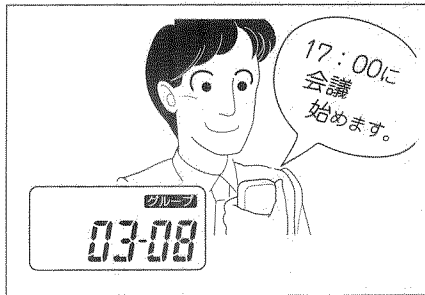


親機からの声が聞こえてきます。BUSYランプが緑に点灯します。
*呼び出し番号が違う人には聞こえません。



5 話し終わったら、トークスイッチを放します。

子機からの声が聞こえてきます。受信ランプが緑に点灯します。



親機の話が終わると、BUSYランプが消えます。

3 トークスイッチを押しながら、返事をします。



*BUSYランプ(緑)が点灯しているときは、トークスイッチを押しても警告音が鳴り、話せません。

*1回に話せる時間は3分になっています(初期値)。残り時間が30秒になると、カウントダウン表示でお知らせします(p.70)。

親機と子機を使う

基地局 3

呼び出し番号を2つ使った通信 (I)

通信テストはうまくいきましたか?

- ・よく聞こえないときは、音量つまみをもう一度調整します。
- ・緑のランプが点灯しているときは、トークスイッチを押しても警告音が鳴り、話せません。
- ・話すときは口からマイクを5cmほど離してください。

それでもうまくいかないときは、p.75をごらんください。

基地局3

呼び出し番号を2つ使う通信 (I)

1つのグループの中で、場合に応じて「個別呼び出し」と「一斉呼び出し」(→p.22)を切り換えて使う場合は、呼び出し番号が2種類(AとB)必要になります。呼び出し番号AとBは、必ず別の番号を設定してください。

★AとBの使いかたのちがいがい

呼び出し番号を2種類使うときは、ひんばんに使う方の呼び出し番号をAに、あまり使わない方の呼び出し番号をBにします。

- ・呼び出し番号A…ふだんは親機も子機も、呼び出し番号Aで通話します。
子機どうしの場合、チャンネルと呼び出し番号が合えば通信できます。
- ・呼び出し番号B…親機から特別の方法で呼び出すとき、呼び出し番号Bを使います。
子機が呼び出し番号Bで応答するには、別売のリモコンスピーカークロホン(以下リモコンマイク)が必要です。
- ・呼び出し番号Aと呼び出し番号Bの切り換え
リモコンマイクの(2)を1秒以上押すと、呼び出し番号Aと呼び出し番号Bが切り換わります。

親機と子機を使う

3

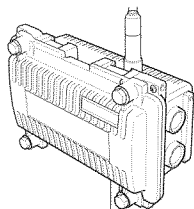
基地局3

★本章 (I) と次章 (II) の通話のしかたのちがいがい

本章 (I) では、親機と子機は、チャンネルと呼び出し番号がともに同じ相手とだけ通話できます。

次章 (II) では、親機は呼び出し番号が違っていても、チャンネルが同じ子機の通話はすべて聞こえます。呼び出し番号A・Bは、「個別呼び出し」か「一斉呼び出し」かを、親機が選ぶために使います。

呼び出し番号を2つ使う場合は、送受信部を設置するまえに、あらかじめディップスイッチを設定してください。(→p.40)

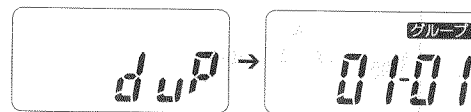


ディップスイッチ

基地局3

呼び出し番号を2つ使う通信 (I) 親機の設定・・・基地局/中継モードの変更

工場出荷時のTCB-U700の電源を入れると、「duP→01-01」という表示が出ます。これは中継局として使うときの表示です。いったん電源を切ってください。

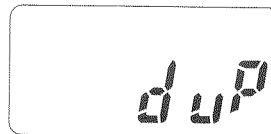


←これは中継モードの表示です。
←リセットをした場合も同じ表示になります。

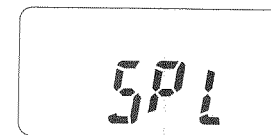
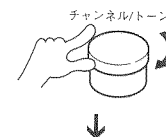
モードの変更

リモコンマイクはオプションです (→p.77)。

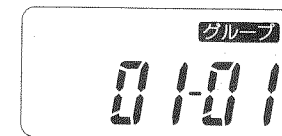
- 1 リモコンマイクのトークスイッチと、本体のランプスイッチを押しながら、電源スイッチをONにします。
*マイクのトークスイッチは押したまま2へ進みます。



- 2 マイクのトークスイッチを押しながら、「SPL」と出るまでダイヤルを回します。



ディスプレイに「SPL」という表示が出たら、トークスイッチを放します。



これで、親機は基地局モードになりました。

- 3 いったん電源を切ります。

親機と子機を使う

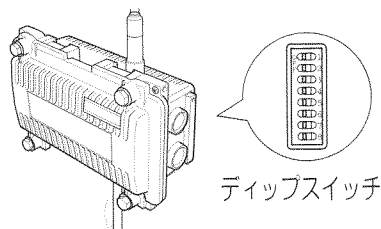
3

基地局3

呼び出し番号 B の設定

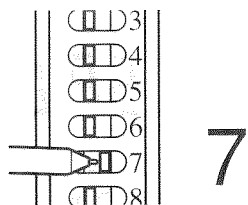
例) 呼び出し番号Bを「20」に設定します。

- 送受信部内の大きなプリント板の裏面に、ディップスイッチがあります (→ p.12)。



ディップスイッチ

- シャープペンシルの先で図のように、「7」のスイッチをONにします。



- コールボタンを押しながら電源を入れます。



呼び出し番号が点滅します。
このとき、前に設定した番号が点滅することもあります。

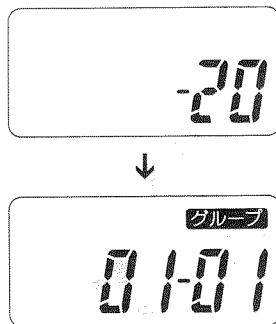
- ダイヤルを回し、先ず呼び出し番号Bを「20」に設定します。

*点滅している番号をそのまま使うときは、5へ進みます。



時計回りに回すと:
番号が38→OF→01...と切り換わります。
反対に回すと:
番号が38→37→36...と切り換わります。

- モードボタンを押します。



呼び出し番号Bが確定し、チャンネル表示に戻ります。

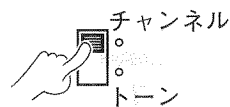
★呼び出し番号Bを解除するには
手順4で「20」を「-OF」にします。

呼び出し番号Aを頻繁に切り換えるときは、チャンネル/トーン切換えスイッチを「トーン」にしておく、ダイヤルを回すだけで呼び出し番号が「01」から「38」まで簡単に変わります。

例) チャンネルを「03」、呼び出し番号Aを「08」にします。

チャンネルの変更

- チャンネル/トーン切換えスイッチを、「チャンネル」に切り換えます。



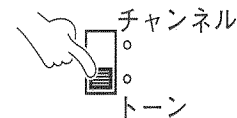
- ダイヤルを回してチャンネルを「03」に設定します。



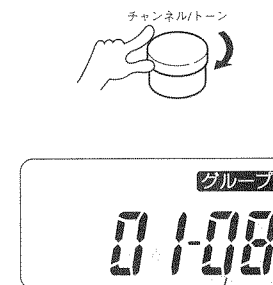
チャンネルが変わります。

呼び出し番号 A の設定

- チャンネル/トーン切換えスイッチを、「トーン」に切り換えます。



- ダイヤルを回して呼び出し番号Aを「08」に設定します。



呼び出し番号Aが変わります。

呼び出し番号Aは、ダイヤルを回すだけで「01」から「38」まで簡単に変わります。

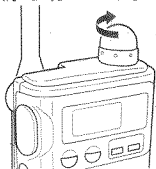
TCP-U70の初期設定は中継モードです。基地局の子機として使うときは、必ず下記の手順で基地局モードに変更してください。

モードの変更

1 VOL (ボリューム) つまみを回して電源を入れます。

*VOLつまみは音量調整もできます。

工場出荷時の本機は「duP→01-01」という表示が出ます。これは中継モードなので、いったん電源を切ります。

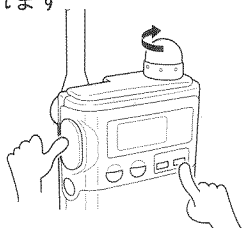


時計まわりに回す。電源を切るときは反対方向に。

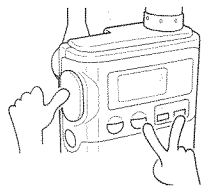


2 トークスイッチと、ランプボタンを押しながら、電源を入れます

* トークスイッチとランプボタンは押したまま3へ進みます。



3 トークスイッチとランプボタンを押しながら、UPボタンを押します。スイッチを放すと、「SPL→01」という表示が出ます。これで、基地局モードになりました。

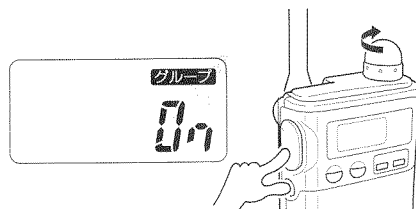


4 いったん電源を切ります。

呼び出し番号AとBの設定

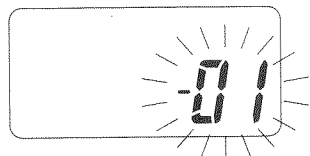
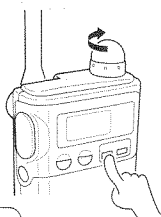
例) 呼び出し番号Aを「08」、Bを「20」に設定する (→p.38)

1 トークスイッチとモニターボタンを押しながら、電源を入れます。



上の表示になったらボタンを放します。「-OF」の場合は、ボタンを放し、ディスプレイを通常の表示に戻してから、もう一度やり直します。

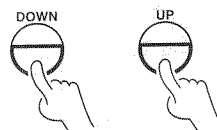
2 電源を切って、モードボタンを押しながら電源を入れます。



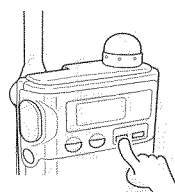
呼び出し番号が点滅します。このとき、前に設定した呼び出し番号が点滅することもあります。

3 呼び出し番号Aを設定します。UPまたはDOWNボタンを「08」が出るまで押します。番号が点滅し始めたら10秒以内にUPまたはDOWNボタンを押してください。

* 点滅している呼び出し番号をそのまま使うときは、4へ進みます。

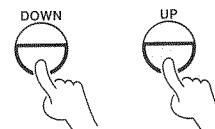


4 モードボタンを押します。これで呼び出し番号Aが設定されました。ディスプレイは下のようになります。

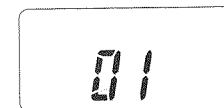
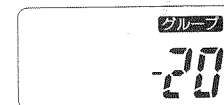
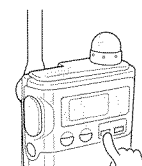


前に呼び出し番号Bを設定してあった場合は、その番号が点滅します。番号が点滅し始めたら10秒以内にUPまたはDOWNボタンを押してください。

5 呼び出し番号Bを設定します。UPまたはDOWNボタンを「20」が出るまで押します。
* 前に設定した番号を使うときは、そのまま6へ進みます。

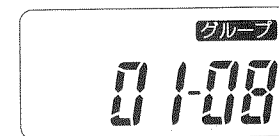


6 モードボタンを押します。



番号が確定し、チャンネルが表示されます。

7 確認のためモードボタンを1秒以上押します。



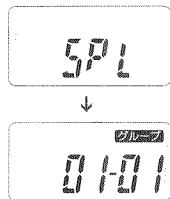
ディスプレイに、チャンネルとセットした呼び出し番号Aがあらわれます。

★番号を解除するには再度手順1~6を繰り返します。ただし、呼び出し番号Aは手順3の「08」を「-OF」に、呼び出し番号Bは手順5の「20」を「-OF」にします。

呼び出し番号A (例. 08) を使った通信方法は、基地局2 (p.34~p.36) と同じです。
ここでは通常表示されない、もう一つの番号B (例. 20) で全員に同時に話しかける方法について説明します。

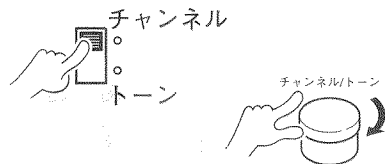
親機

1 電源をONにし、音量つまみを時計回りに回して、音量を調整します。

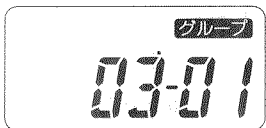


ディスプレイには「SPL→01-01」という表示が出ます。

2 チャンネル/トーン切換えスイッチを「チャンネル」にし、ダイヤルでチャンネルを合わせます。ここでは、「03」にします。



時計回りに回すと：
番号が01→02→03...と切り換わります。
反対に回すと：
番号が01→11→10...と切り換わります。



子機

あらかじめリモコンマイクを接続しておきます。

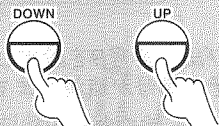
1 VOLつまみを回して電源を入れます。
* 音量調節もできます。



ディスプレイには「SPL→08」と表示されます。

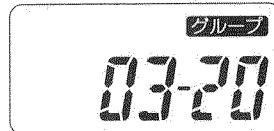
* 「duP→01-01」と出るときは、セットし直してください (→p.42)。

2 UPまたは、DOWNボタンでチャンネルを選びます。親機に合わせて、「03」を使います。



3 コールボタンを押します。ディスプレイには呼び出し番号Bが表示されます。

コール

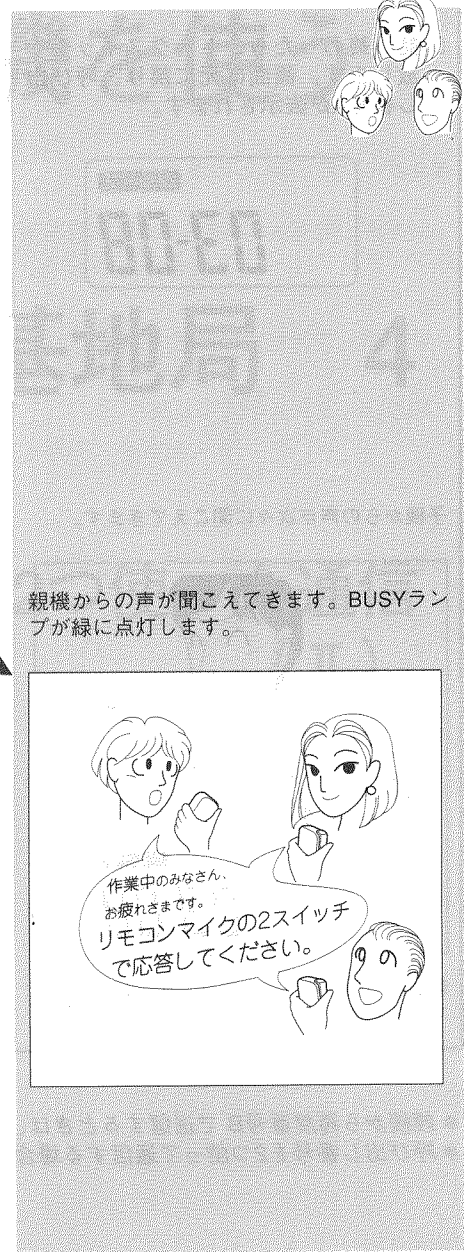


4 コールボタンを押したまま、マイクのトークスイッチを押します。

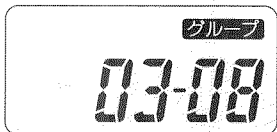
送信ランプが赤く点灯したら、コールボタンを放します。



* 通話は親機から始めるようにします。
* 話している間はトークスイッチを放さないでください。



5 話し終わったら、トークスイッチを放します。画面は元に戻り、呼び出し番号Aが表示されます。



親機と子機を使う

3

基地局 3

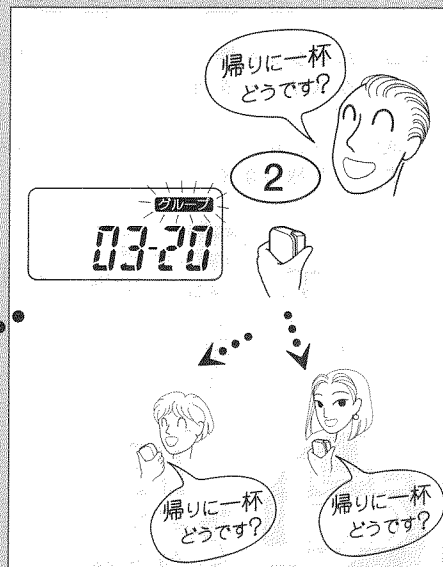
子機からの声が次々に聞こえてきます。



親機と子機のもう一つの呼び出し番号が合っているときだけ、互いに聞こえます。

親機からの話が終わると、BUSYランプが消えます。

3 BUSYランプが消えたら、1人ずつ返事をしてください。
リモコンマイクの2スイッチを1秒以上押し続けて呼び出し番号Bを表示させ、トークスイッチを押しながら話します。



通話が終わったら、マイクの2スイッチをもう一度1秒以上押し続けて、呼び出し番号Aに変えておきます。
親機にだけ応答する場合はリモコンマイクスイッチの操作は不用です。

* 親機から再度番号Bで送信するときは、3.4の操作を繰り返してください。
* 呼び出し番号を2つ使って通信する場合、頭ぎれを起こすことがあります。

親機と子機を使う

基地局 4

呼び出し番号を2つ使った通信 (II)

親機と子機を使う

4

基地局 4

1つのグループの中で、場合に応じて「個別呼び出し」と「一斉呼び出し」を切り替えて使う場合は、呼び出し番号が2種類 (AとB) が必要になります。

呼び出し番号を2種類使うときは、ひんばんに使う方の呼び出し番号をAに、あまり使わない方の呼び出し番号をBにします。呼び出し番号AとBは、必ず別の番号を設定するようにしてください。

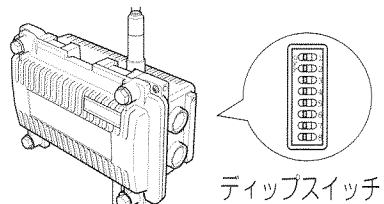
★AとBの使いかたのちがい

- ・呼び出し番号A…ふだんは親機も子機も、呼び出し番号Aで通話します。
子機どうしの場合、チャンネルと呼び出し番号が合えば通信できます。
- ・呼び出し番号B…親機から特別の方法で呼び出すときだけ、呼び出し番号Bを使います。
子機が応答するときは、呼び出し番号Aのままでも親機に聞こえます。
- ・呼び出し番号Bを使うには、
コールボタンを押しながらトークスイッチを押して話します。

★前章 (Ⅰ) と本章 (Ⅱ) の通話のしかたのちがい

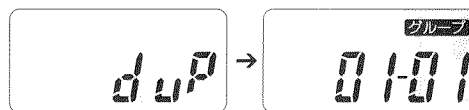
前章 (Ⅰ) では、親機と子機は、チャンネルと呼び出し番号がともに同じ相手とだけ通話できます。

本章 (Ⅱ) の設定では、親機は受信用の呼び出し番号を解除しています。そのため、呼び出し番号に拘わりなく、チャンネルが同じ子機との通話はすべて聞こえます。
呼び出し番号A・Bは、「個別呼び出し」か「一斉呼び出し」かを、親機が選ぶために使います。



呼び出し番号を2つ使う場合は、送受信部を設置するまえに、あらかじめディップスイッチを設定してください。(→p.50)

工場出荷時のTCB-U700に電源を入れると、「duP→01-01」という表示が出ます。これは中継局として使うときの表示です。いったん電源を切ってください。



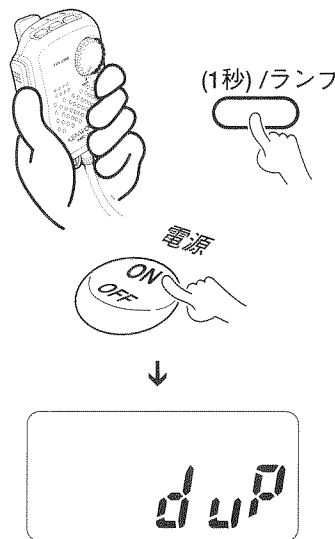
←これは中継モードの表示です。
←リセットをした場合も同じ表示になります。

モードの変更

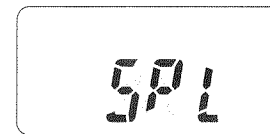
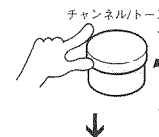
リモコンマイクはオプションです (→p.77)。

1 リモコンマイクのトークスイッチと、本体のランプスイッチを押しながら、電源スイッチをONにします。

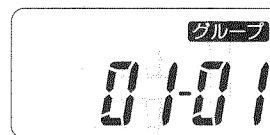
*マイクのトークスイッチは押したまま2へ進みます。



2 マイクのトークスイッチを押しながら、「SPL」と出るまでダイヤルを回します。



ディスプレイに「SPL」という表示が出たら、トークスイッチを放します。



これで、親機は基地局モードになりました。

3 いったん電源を切ります。

基地局4

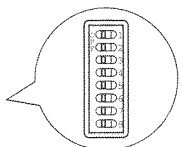
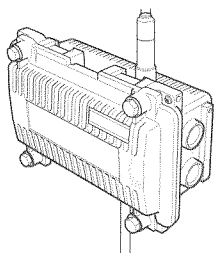
呼び出し番号を2つ使う通信(Ⅱ)
親機の設定・・・呼び出し番号AとBの準備

基地局4の場合、子機は2種類の呼び出し番号AとBを設定しています。
親機は、AもBも必要なときダイヤルを回して設定します。ここではそのための準備をします。

呼び出し番号AとBの準備

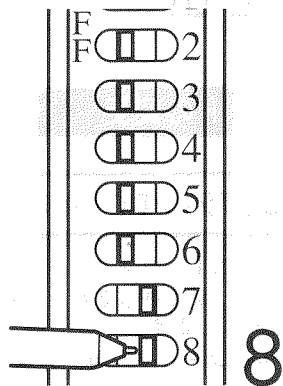
- 1 送受信部内の大きなプリント板の裏面に、ディップスイッチがあります(→p.12)。

親機と子機を使う



ディップスイッチ

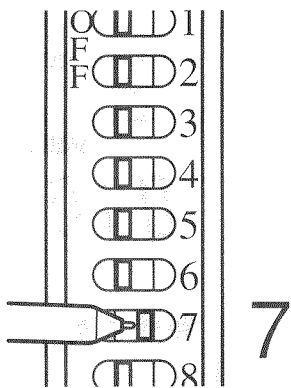
- 3 次に「8」のスイッチをONにします。



8

4 基地局4

- 2 シャープペンシルの先で図のように、「7」のスイッチをONにします。(→p.79)

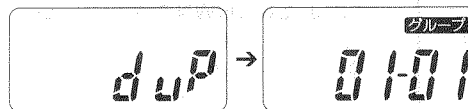


7

基地局4

呼び出し番号を2つ使う通信(Ⅱ)
子機の設定・・・基地局/中継モードの変更

TCP-U70の初期設定は中継モードです。基地局の子機として使うときは、必ず下記の手順で基地局モードに変更してください。



←これは中継モードの表示です。
←リセットをした場合も同じ表示になります。

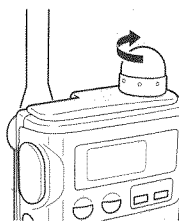
モードの変更

- 1 VOL (ボリューム) つまみを回して電源を入れます。

*VOLつまみは音量調整もできます。

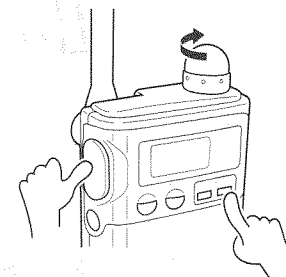
工場出荷時の本機は「duP→01-01」という表示が出ます。
これは中継モードなので、いったん電源を切ります。

時計まわりに回す。電源を切るときは反対方向に。



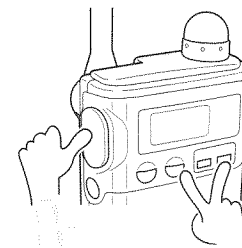
- 2 トークスイッチと、ランプボタンを押しながら、電源を入れます。

*トークスイッチとランプボタンは押したままで3へ進みます。



- 3 トークスイッチとランプボタンを押しながら、UPボタンを押します。

スイッチを放すと、「SPL→01」という表示が出ます。



これで、基地局モードになりました。

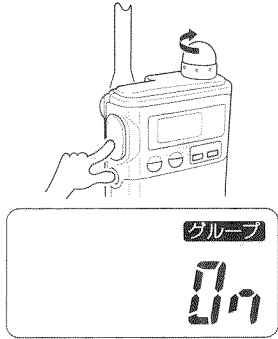
親機と子機を使う

4 基地局4

例) 呼び出し番号Aを「08」、Bを「20」に設定します。

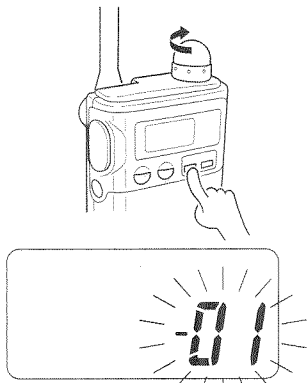
呼び出し番号AとBの設定

- 1 トークスイッチとモニターボタンを押しなが
ら、電源を入れます。



上の表示になったらボタンを放します。
「-OF」の場合は、ボタンを放し、デ
ィスプレイを通常の見せに戻してから、も
う一度やり直します。

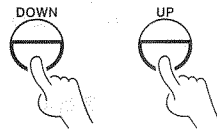
- 2 電源を切って、モードボタンを押しなが
ら電源を入れます。



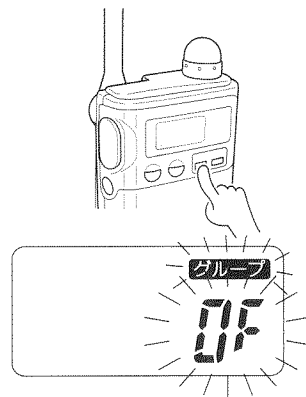
呼び出し番号が点滅します。このとき、
前に設定した呼び出し番号が点滅するこ
ともあります。

- 3 呼び出し番号Aを設定します。
UPまたはDOWNボタンを「08」が出る
まで押します。
番号が点滅し始めたら10秒以内にUPまた
はDOWNボタンを押してください。

* 点滅している呼び出し番号をそのまま
使うときは、4へ進みます。



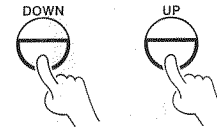
- 4 モードボタンを押します。
これで呼び出し番号Aが設定されまし
た。
ディスプレイは下のようになります。



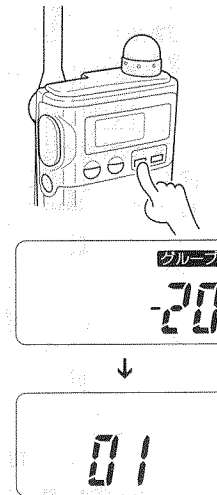
前に呼び出し番号Bを設定してあった場
合は、その番号が点滅します。

- 5 呼び出し番号Bを設定します。
UPまたはDOWNボタンを「20」が出る
まで押します。
番号が点滅し始めたら10秒以内にUPまた
はDOWNボタンを押してください。

* 前に設定した番号を使うときは、その
まま6へ進みます。

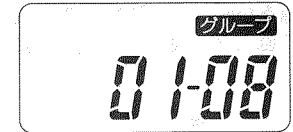


- 6 モードボタンを押します。



番号が確定し、チャンネルが表示されま
す。

- 7 確認のためモードボタンを1秒以上押し
ます。



ディスプレイに、チャンネルとセットした
呼び出し番号Aがあらわれます。

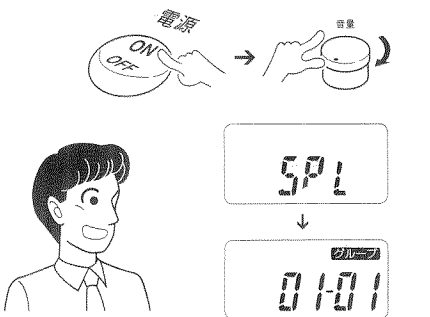
設定を解除する

再度手順1～6を繰り返します。
ただし、呼び出し番号Aは手順3の「08」を
「-OF」に、呼び出し番号Bは手順5の
「20」を「-OF」にします。

呼び出し番号A (例. 08) とB (例. 20) を使った通信方法は、基地局3 (p.44~p.46) と同じです。ここでは通常表示されない、もう一つの番号B (例. 20) で全員に同時に話しかける方法について説明します。

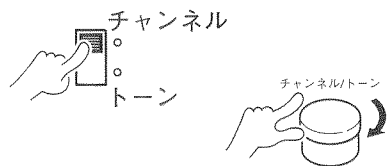
親機

- 1 電源をONにし、音量つまみを時計回りに回して、音量を調整します。

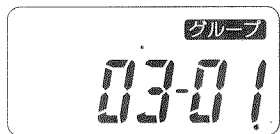


ディスプレイには「SPL→01-01」という表示が出ます。

- 2 チャンネル/トーン切換えスイッチを「チャンネル」にし、ダイヤルでチャンネルを合わせます。ここでは、「03」にします。

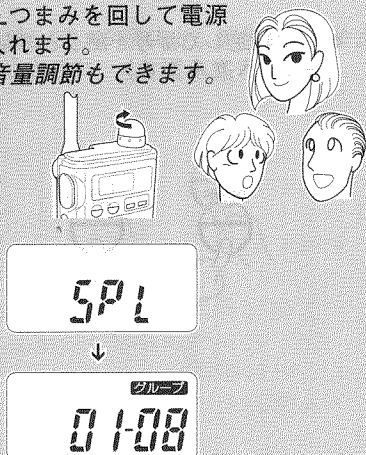


時計回りに回すと：
番号が01→02→03...と切り換わります。
反対に回すと：
番号が01→11→10...と切り換わります。



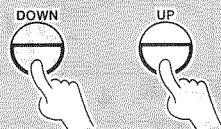
子機

- 呼び出し番号Aを「08」に設定してある例
- 1 VOLつまみを回して電源を入れます。
* 音量調節もできます。



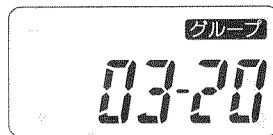
ディスプレイには「SPL→08」と表示されます。
* 「duP→01-01」と出るときは、セットし直します (→p.51)。

- 2 UPまたは、DOWNボタンでチャンネルを選びます。親機に合わせて、「03」を使います。



全員同時に話しかけるには

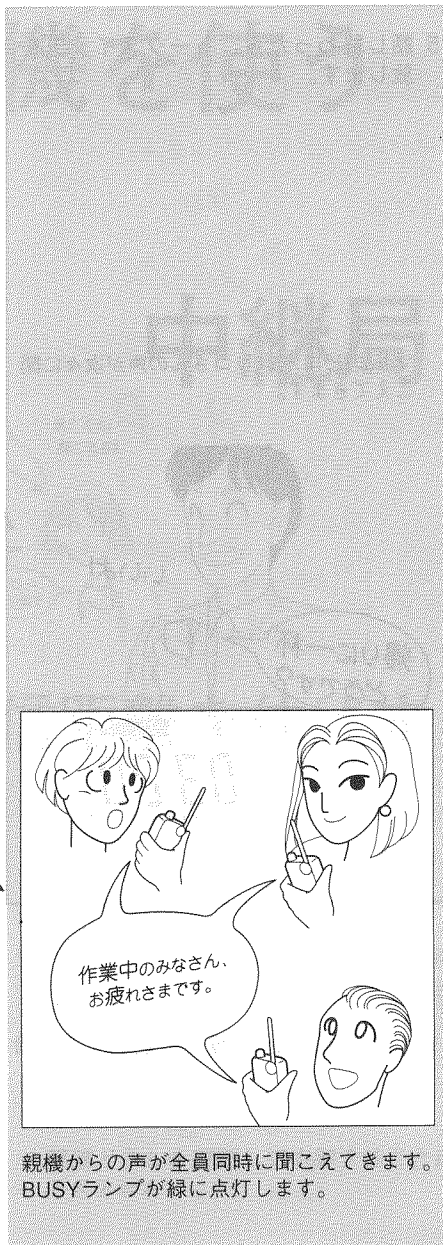
- 3 コールボタンを押します。
ディスプレイに通常表示されない呼び出し番号Bが表示されます。



- 4 コールボタンを押したまま、マイクのトークスイッチを押します。送信ランプが赤く点灯したら、コールボタンを放します。



- * 話している間は、トークスイッチを放さないでください。
- * 親機は呼び出し番号Bで3人を呼び出します。このとき、3人はBで応答しなくても親機は3人の通話を聞くことができます。



親機からの声が全員同時に聞こえてきます。BUSYランプが緑に点灯します。

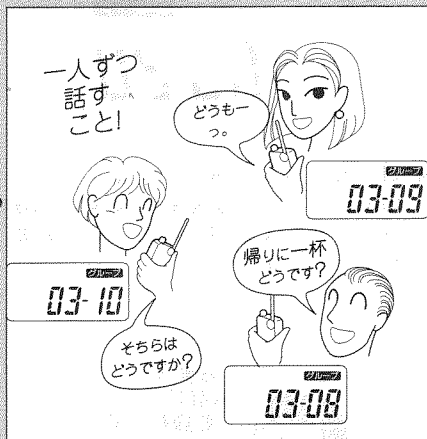
5 話し終わったら、トークスイッチを放します。

マサコ/ヒロオ/ノリコさんの声が次々に聞こえてきます。



親機からの話が終わると、BUSYランプが消えます。

3 BUSYランプが消えたら、1人ずつ返事をしてください。
トークスイッチを押しながら話します。



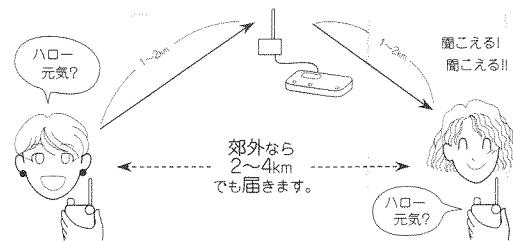
3人が呼び出し番号Aのまま応答しても、親機にはちゃんと聞こえます。

！ご注意

呼び出し番号を2つ使って通話する場合、頭ぎれを起こすことがあります。

親機と子機を使う

中継局



通信距離を伸ばす

中継局なしに子機Aと子機Bが通常通信できる距離は、

市街地	100~200m
郊外	1~2km です。

TCB-U700を中継局に使うと子機Aと子機Bの通信距離を今までの約2倍に延長できます。

市街地	200~400m、
郊外	2~4km

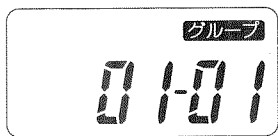
★親機どうしを連続して中継することはできません。

中継局として使うには、親機と子機に同じ中継番号を設定します。中継番号が同じ子機の通話だけを中継します。

例) チャンネルを「02」、中継番号を「36」に設定する。

中継番号の設定

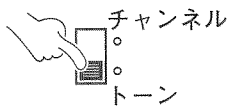
- 1 電源スイッチをONにします。



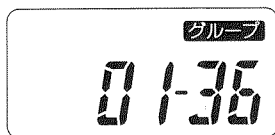
工場出荷時の本機はこの「duP→01-01」という表示が出ます。

☆ 基地局として使っていた場合などで上のように表示されないときは、リセットしてください(→p.74)。

- 2 チャンネル/トーン切換えスイッチを、「トーン」に切り換えます。



- 3 ダイヤルを回して、中継番号を設定します。ここでは「36」にします。



時計回りに回すと：
番号が01→02→03…と切り換わります。
反対に回すと：
番号が01→OF→38…と切り換わります。
(OFにすると中継しません。必ず番号を設定してください。)

！注意
* 中継中は、電源を切らないでください

- 4 チャンネル/トーン切換えスイッチを、「チャンネル」に切り換えます。



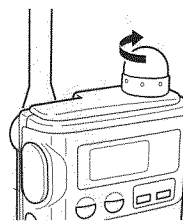
- 5 ダイヤルでチャンネル番号を合わせます。ここでは子機に合わせて「02」にします。



中継番号は01～38までです。ここでは親機に合わせてチャンネルを「02」に、中継番号を「36」に設定します。必ず2台以上の子機に設定してください。

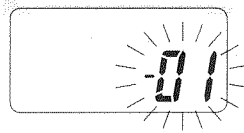
中継番号の設定

- 1 VOLつまみを回して電源を入れます。工場出荷時の本機は「duP→01-01」という表示が出ます。
* VOLつまみは音量調整もできます。



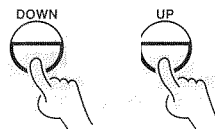
今まで基地局として使っていた場合などで上のような表示が出ないときは、電源を切ってリセットをしてください。(→p.74)

- 2 モードボタンを押しながら、電源を入れます。



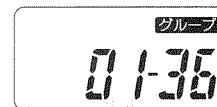
番号が点滅します。

- 3 36が出るまでUPまたはDOWNボタンを押します。



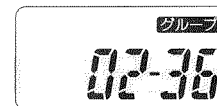
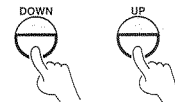
番号が点滅し始めたら10秒以内にUPまたはDOWNボタンを押してください。
UPボタン：
番号が01→02→03…と切り換わります。
DOWNボタン：
番号が01→OF→38…と切り換わります。

- 4 モードボタンを押します。



数字が確定し、「duP→01-36」というように表示が変わります。

- 5 UPまたはDOWNボタンでチャンネルを02に設定します。



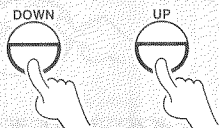
ここではチャンネルは02、中継番号は36で通信テストします。

* 中継機とお互いの子機の電源は切らないでください。

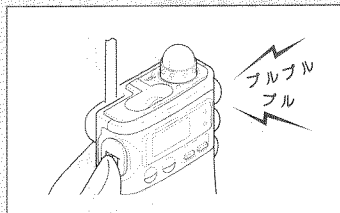


子機

1 UPまたはDOWNボタンでチャンネルを02に設定します。



2 トークスイッチを押します。ON AIRランプが赤く点灯します。

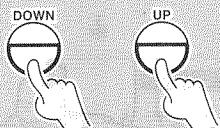


「ブルブル」という音が聞こえます。トークスイッチは押したままにしてください。

親機と子機を使う

子機

1 UPまたはDOWNボタンでチャンネルを02に設定します。



中継局

「ブルブル」音の後、「プープー」と鳴ったときは中継されていません。

中継機または相手の子機に次のような問題があります。

- 電源を切っている
- チャンネルまたは中継番号が違っている
- 電源を入れたとき、「SPL→01」と出る
- 中継機と、子機どうしの間の距離が遠すぎる。
(子機どうしの距離は、めやすとして市街地なら200~400m、郊外なら2~4kmまでです。)

事前に中継できることを確認してからお使いください。



アイ

3 「ブルブル」音が止まったら、トークスイッチを押したまま話します。



* 最後に「どうぞ。」と一言加えて、話し終わったことを相手に伝えてください。

4 トークスイッチを放します。マコトさんの声が聞こえてきます。BUSYランプが緑に点灯します。



! 注意

- ☆ BUSYランプが消えて2秒の間にどちらも話さない(トークスイッチを押さない)と、中継は終わってしまいます。「どうぞ」の後にはすぐ応答してください。
- ☆ いったん中継が終了したら1の手順からもう一度やり直します。
- ☆ 通信の間合いに応じて、p.79 (スイッチ1/2) のハングアップタイムを適当な長さに調整することをお勧めします。



マコト

アイさんの声が聞こえてきます。BUSYランプが緑に点灯します。



2 相手の話が終って、「どうぞ」と聞こえたら、2秒以内にトークスイッチを押して応えます。ON AIRランプが赤く点灯します。



* 必ず最後に「どうぞ。」と一言加えて、自分の話が終わったことを相手に伝えてください。

親機と子機を使う

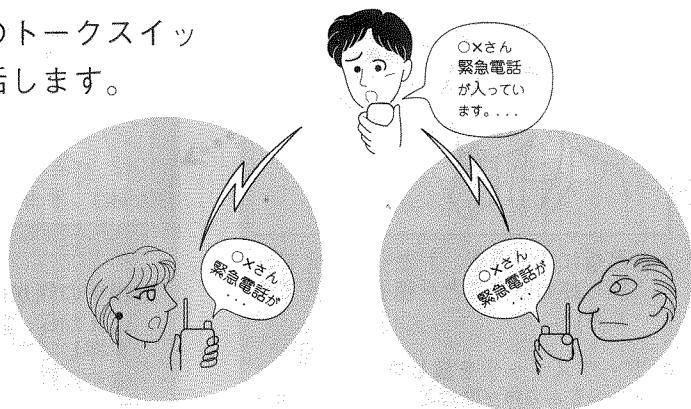
中継局

大変だあ！…

親機（中継局）から緊急で子機に話しかけたいとき

子機どうして通話をしている間に、緊急で知らせたいことがある場合、中継局から通話の割り込みをすることができます。

中継機のマイクのトークスイッチを押しながら話します。



*最後に「どうぞ。」と一言加えて、話し終わったことを相手に伝えてください。緊急連絡が終わると、子機は通常通話を続けることができます。

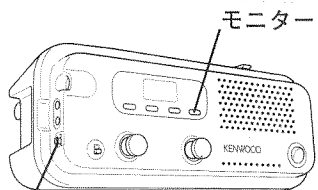
！注意

子機が送信しているときは、親機から緊急連絡が入っても、その子機には緊急連絡は聞こえません。

親機と子機を使う

中継局

モニター



スピーカー切り換えスイッチ

中継局に管理する人がいるときは、モニターボタンで通話をモニターできます。スピーカーは、切換えスイッチで、内蔵スピーカーかリモコンマイクが選べます。

管理する人がいないときや、中継局を不在にするときは、もう一度モニターボタンを押すと、音声は出なくなります。

便利な機能 & 保守・参考

便利な機能

保守・参考

暗いところでチャンネルやモードを変えるときランプをつけると便利です。

親機

- ランプ/ロックボタンを押します。ディスプレイが点灯します。



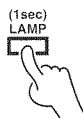
消灯するときは、もう一度ランプ/ロックボタンを押します。

便利な機能

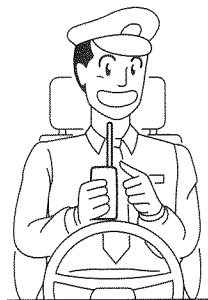
子機

子機のディスプレイランプは5秒間だけ点灯します。

- 1 ランプボタンを押します。



- 2 チャンネルやモードを変更します。ボタンを使って操作すると、その間ランプは点灯し続けます。



ランプを常時点灯させる

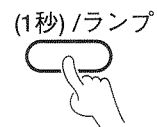
ランプボタンを押しながら電源を入れると、ランプは点灯したままになります。(もう一度同じ操作を繰り返すと、元の状態に戻ります。)



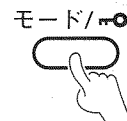
通話中はロックしておくとも、間違ってもボタンを押しても設定は変わりません。ロックをやめたいときは、もう一度同じ手順を繰り返してください。

親機

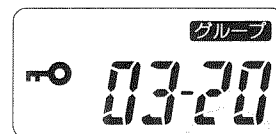
- 1 ランプ/ロックボタンを1秒以上押しします。



- 2 〰️表示が点滅している間(2秒間)にモードボタンを押します。



ロック表示が点灯します。

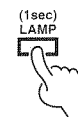


ロック中でも、送受信するための下記のスイッチ類は動作します。

- ・電源スイッチ
- ・音量つまみ
- ・トークスイッチ (マイクロホン)
- ・モニタースイッチ
- ・ランプ/ロックボタン
- ・スピーカー切換えスイッチ
- ・チャンネル/トーン切換えスイッチ

子機

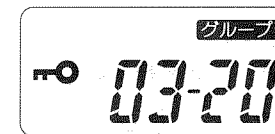
- 1 ランプボタンを1秒以上押しします。



- 2 ロック表示が点滅している間(2秒間)にモードボタンを押します。

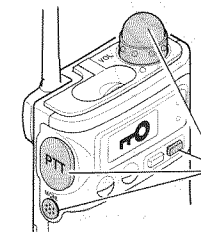


ロック表示が点灯します。



ロック中でも、送受信するための下記のスイッチ類は動作します。

- ・電源/VOL (音量つまみ)
- ・トークスイッチ
- ・モニタースイッチ
- ・ランプボタン
- ・ロック解除操作 (上記)



ロック中でもこれらは動作します

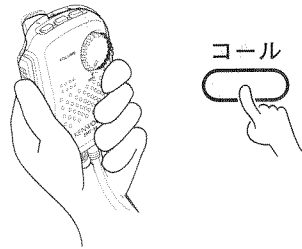
便利な機能

本機は電話のような音（コールトーン）で相手を呼び出すことができます。相手がなかなか応答しないときなどは、呼び出し音を使うほうが効果的です。リモコンマイクでもコールトーンが出せます（→p.77）。

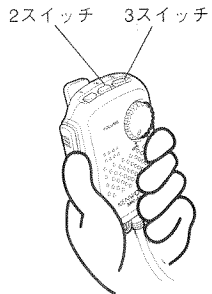
親機

親機でコールトーンを出す方法は2つあります。

- マイクのトークスイッチを押しながら、本体のコールボタンを押します。



- リモコンマイク（オプション）の2または3スイッチを押します。
 - ・2スイッチ…低音の呼び出し音が送信されます。
 - ・3スイッチ…高音の呼び出し音が送信されます。

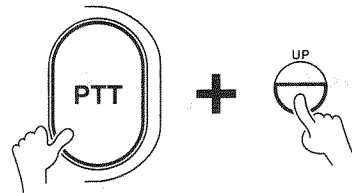


注意 ディップスイッチ7をONにして、呼び出し番号Bを設定した時は、3スイッチは本体のコールボタンと同じになります（→p.79）。

子機

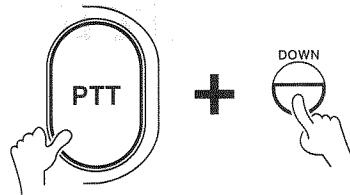
- トークスイッチを押したままUPボタンを押します。

高音のコールトーンで呼び出します。



- トークスイッチを押したままDOWNボタンを押します。

低音のコールトーンで呼び出します。



操作確認のためのビープ音は、次の手順で止めることができます。

親機

- モニターボタンを押しながら、電源をONにします。



ただし、次の警告音は止められません。
・制限時間に関する音



- ・受信中にトークスイッチを押したときの警告音



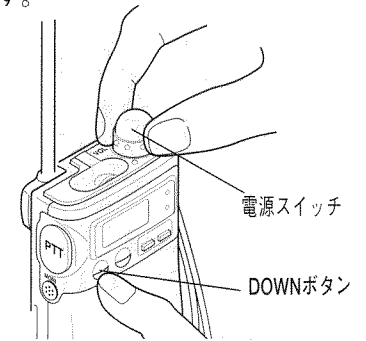
- ・（中継局）子機がトークスイッチを放したときの音



もう一度同じ動作を行うと、ビープ音を出すことができます。

子機

- DOWNボタンを押しながら、電源を入れます。



ただし、次の警告音は止められません。
・制限時間に関する音



- ・受信中にトークスイッチを押したときの警告音

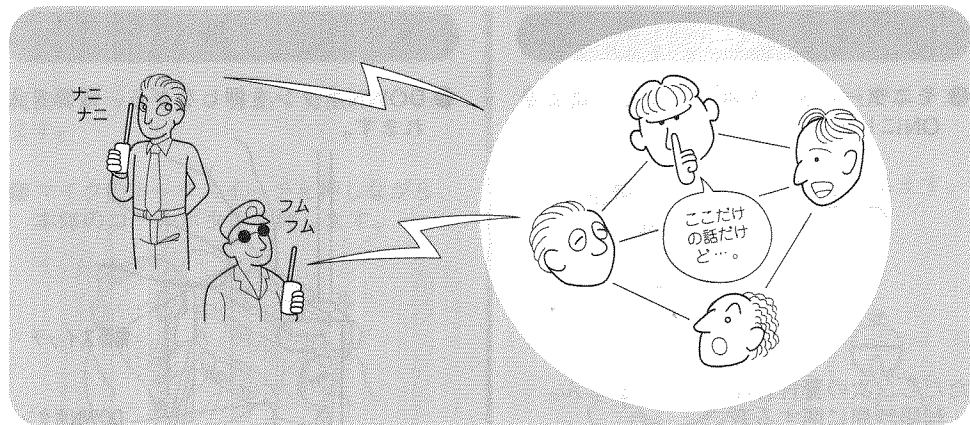


- ・電池がなくなりかけているときの警告音



もう一度同じ動作を行うと、ビープ音が出ます。

呼び出し番号や中継番号を設定すると、仲間以外の声は聞こえなくなります。仲間うちで通話をしていると思い、安心してしまいがちです。しかし実際には、同じチャンネルを使っている人には全て聞こえています。



仲間だけで・・・というときには、スクランブル機能をお使いください。

*ただし、同様にスクランブル設定をしたグループには聞こえます。極秘事項の話し合いには適しません。

親機の設定

例. チャンネル02、中継番号36のとき。

1 呼び出し番号または中継番号を設定します。

呼び出し番号の設定→p.31,41,50
中継番号の設定→p.58

2 チャンネルを合わせます。



3 モードボタンを押します。
ディスプレイに「スクランブル」の表示が出ます。

4 トークスイッチを押して話します。

スクランブルを使わないとき

●モードボタンを押して、解除します。

設定すると
便利な機能

子機の設定

1 呼び出し番号をセットします。
(→p.19,33,42,52,59)

2 UPまたはDOWNボタンでチャンネルを選びます。

3 モードボタンを1秒以上、2回押します。

・1回押すと...



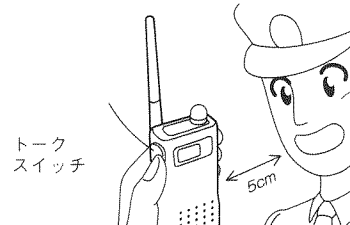
「グループ」と表示されます。

・もう1回押すと...



「スクランブル・グループ」になります。

4 トークスイッチを押して話します。

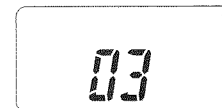


*グループ以外の人でも、同じチャンネル、同じ呼び出し番号で、スクランブルを使用している人には聞こえます。

スクランブルをやめる

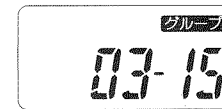
モードボタンを1秒以上押します。

・1回押すと...



チャンネル番号だけの通話になります。

・もう1回押すと...



スクランブルを使わない、仲間どうしの通話になります(→p.18)。

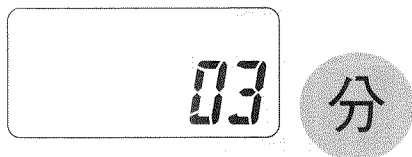
設定すると
便利な機能

基地局モードのときは、30秒モードと3分モードの2通りの通話/送信時間があります。お使いになる状況に合わせて、お選びください。お買い上げのときは、3分モードになっています。

* 中継局は3分モードだけです。

* 3分モードのときは…

3分以上の**連続通話**はできません。



30秒前になると数字が点滅し、送信中にカウントダウンを始めます。

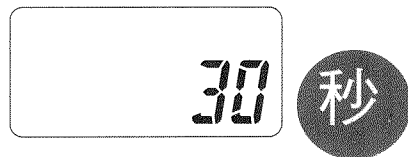
10秒前に警告音が鳴り、3分になると自動的に通信をストップします。

・続けて話したいときは、一たんトークスイッチをはなして、2秒待ってから、トークスイッチを押します。

・BUSYランプが緑に点灯しているときでも、トークスイッチを押して話せることがあります。

* 30秒モードのときは…

30秒以上の**連続送信**はできません。



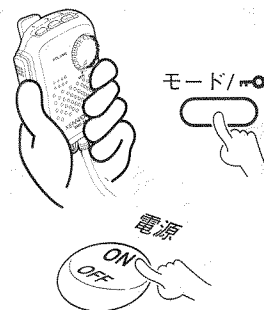
10秒前になると数字が点滅し、送信中にカウントダウンを始めます。

5秒前に警告音が鳴り、30秒になると自動的に通信をストップします。

・続けて話したいときは、一たんトークスイッチをはなして、2秒待ってから、トークスイッチを押します。

親機の設定

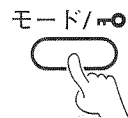
1 いったん電源をOFFにし、マイクのトークスイッチと本体のモードボタンを押しながら、もう一度電源をONにします。



2 「30」と表示されるまで、ダイヤルを回します。



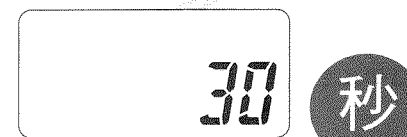
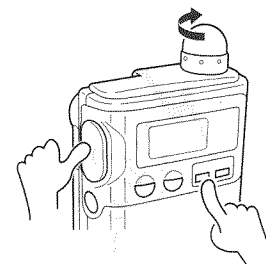
3 モードボタンを押します。



もう一度3分モードにしたいときは、同じやりかたで電源を入れ直して、「03」が表示されるまでダイヤルを回します。

子機の設定

30秒モードに変更するときは、トークスイッチとモードボタンを押しながら、電源を入れます。



30秒モードの表示になります。

もう一度3分モードにしたいときは、電源を切った後、同じやりかたで電源を入れ直すと、「03」が表示されず。

電源を切り忘れても、自動的に電源が切れる機能です。2時間以上誰からも受信せず、自分も送信またはボタン操作をしないと、電源が切れます。

* 中継局として使っているときは、この機能は使えません。

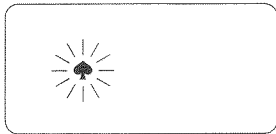
★APO機能が働くと…

- 1 電源が切れる前に、“ピピッ”という警告音が4回鳴ります。



このとき何かのスイッチを押すと、電源は切れません。

- 2 警告音から1分経つと、ディスプレイはAPOマークだけになり、受信も送信もできなくなります。



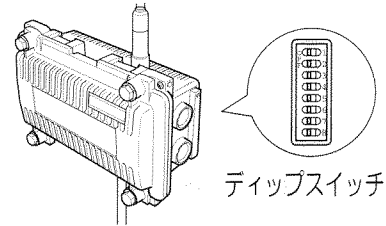
この状態では、すべての機能は停止していますが、多少の電流は流れています。使わないときは電源を切ってください。操作を再開したいときは、電源を入れ直します。

* モニタースイッチを押しても、同じように操作を再開できます。

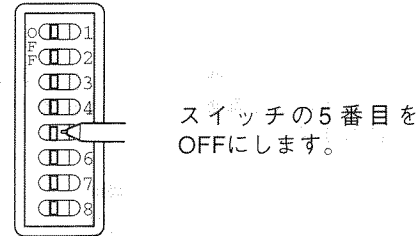
設定すると便利な機能

APO機能をやめる

- 1 送受信部内の大きなプリント板の裏面に、ディップスイッチがあります(→ p.12)。



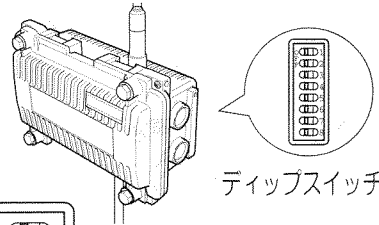
ディップスイッチ



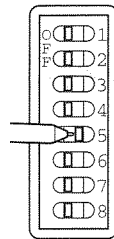
スイッチの5番目をOFFにします。

親機の設定

- 1 送受信部内の大きなプリント板の裏面に、ディップスイッチがあります(→ p.12)。



ディップスイッチ



スイッチの5番目をONにします。

- 2 いったん電源をOFFにして、ランプボタンを押しながらもう一度電源をONにします。



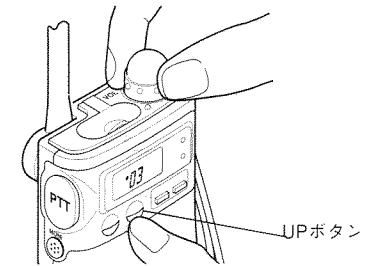
ONのときはAPOマークが点灯します。



APOマーク

子機の設定

UPボタンを押しながら、VOLつまみを回して電源を入れます。



ONのときはAPOマークが点灯します。

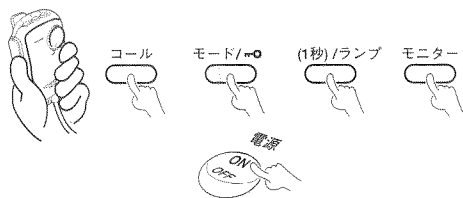
APO機能をやめる

いったん電源を切ってから、同じ動作を繰り返してください。

設定すると便利な機能

親機

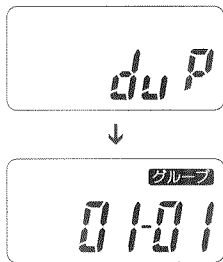
- 1 電源をOFFにしてください。
- 2 マイクのトークスイッチ、コールボタン、モードボタン、ランプボタンとモニターボタンをすべて同時に押したまま、電源をONにしてください。



- 3 すべてのボタンを押したまま、ディスプレイが下のような表示になっているか、確認します。



- 4 ボタンを放します。

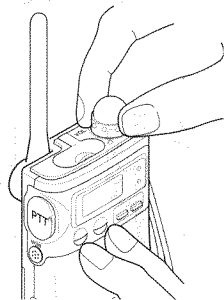


「dup→01-01」と表示され、リセット完了です。

*リセットした後は、基地局編/中継局編のいずれかのページを読んで、もう一度設定しなおしてください。

子機

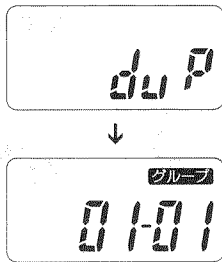
- 1 電源を切ります。
- 2 UPボタンとDOWNボタンを同時に押したまま、電源を入れます。



- 3 2つのボタンを押したまま、ディスプレイが下のような表示になっているか、確認します。



- 4 ボタンを放します。



「dup→01-01」と表示され、リセット完了です。

*リセットした後は、必ず設定をやり直してください。

あれ？おかしいな…そんなときは、症状を確認してください

☆電源をONにしても何も表示されない！

- 子機の場合
 - ・電池を取り出し、電池ケース底面の指定方向(+と-)に合わせて入れ直してください。
 - ・新しい電池の入れ替え時です。
- 親機の場合
 - ・ACアダプターが抜けてませんか。
 - ・内部ヒューズが切れていませんか。

☆送信以外のリモコンマイクの機能が使えない
リモコンマイクの裏面にあるロックスイッチをOFFにしてください。

☆リモコンマイクの3スイッチを押してもコールトーンが出ない
ディップスイッチ7の設定が、呼び出し番号Bの呼び出しになっている(→p.79)。

☆設定の途中でボタンを押しても反応しない！
設定の途中で表示がおかしくなった！

🔑 マークが出ている場合は、ロック状態になっていて、操作できません。

- 1 ランプボタンを約1秒押してください。



- 2 🔑 マークが点滅しはじめたら、モードボタンを押して、ロックを解除します。

?ロックを解除しても操作できないときは…
リセットすると、お買い上げのときと同じ状態に戻ります。

！ご注意

リセットすると、今までに設定したチャンネルや番号はすべて消えています。
リセットの前にメモを取ることをお勧めします。
また、基地局として使うときはp.23、29、37、47を、中継局として使うときはp.57を読んで、必要な準備を行ってください。

* 基地局モードと中継モードの切り換えをしたときも、同様に設定項目は消えます。ご注意ください。

☆相手と通話ができない！

- ・チャンネル、呼び出し番号を相手に合わせて、やり直してください。
- ・距離のめやすは、市街地なら100～200m、郊外なら1～2kmです。

☆警告音が鳴って、相手に送信できない！

緑色の受信ランプが消えるまで待つて、もう一度送信してみてください。

☆受信ランプが点灯するのに、音が出ない！

他のグループが同じチャンネルで、異なる設定で通話しています。

☆呼び出し番号で話しているのに、聞こえない！

- ・モニタースイッチを押しながら、音量つまみを調整してみてください。
- ・チャンネルが、他のメンバーと違ってませんか。同じチャンネルに合わせてください。

☆自分に関係ない話が聞こえてくる！

偶然、チャンネルと呼び出し番号が同じ人たちの話は、聞こえてしまいます。通話する相手と相談の上、別のチャンネルをセットしてください。

☆変な音が聞こえてくる！

- ・自分、もしくは相手だけがスクランブルになっています。お互いに通話モードを合わせてください。
- ・同じチャンネル・呼び出し番号でスクランブル通話している人たちが近くにいます。通話する相手と相談の上、別のチャンネルをセットしてください。

☆2つの呼び出し番号が動作しない！

●親機の場合

- ・チャンネル/トーン切換えスイッチを「トーン」にしてください。
- ・p.37～またはp.47～の説明にしたがって、送受信部の設定用のディップスイッチをシャープペンシルなどの先でONにしてください。その後、呼び出し番号を設定をお願いします。

●子機の場合

トークスイッチとモニタースイッチを同時に押して電源を入れたとき、「-OF」と出た場合は、設定できません。いったんすべてのボタンを放した後、もう一度同じやりかたで電源を入れてください。「-On」と表示されたら、p.38,43の手順に従って番号を設定してください。

3キーリモコン対応 ボリュームコントロール付
スピーカーマイクロホン

SMC-34



トークスイッチ
送信するとき、このスイッチを押しながら話します。

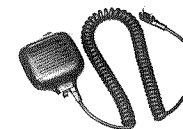
ロックスイッチ
このスイッチをONにすると、マイクのみ機能になり、1～3のスイッチは使えなくなります。工場出荷時はロックはonになっています。

SMC-34のスイッチ1、2、3の機能は親機と子機で異なります。

■ SMC-34を親機に接続する場合

- 1 モニタースイッチ**
相手の声が聞き取りにくいとき、押します。
- 2 コールトーンスイッチA**
電話のような音（低音）を3回鳴らして相手呼び出します。鳴らし終わると、受信待ちになります（→p.66）。
- 3 コールトーンスイッチB**
電話のような音（高音）を3回鳴らして相手呼び出します。鳴らし終わると、受信待ちになります（→p.66）。

マイクロホン
KMC-17



マイクロホン
KMC-21



イヤホン付クリップマイクロホン
EMC-3

★KMC-17, KMC-21, EMC-3 はリモコン機能はありません。

■ SMC-34を子機に接続する場合

- 1 モニタースイッチ**
相手の声が聞き取りにくいとき、押します。
- 2 スキャンスイッチ**
1秒以上押し、電波を出している局を探しはじめます。チャンネル、グループを問わず、誰か話している人を探します。もう一度押し、スキャンは止まります。
- 3 コールトーンスイッチ**
電話のような音を3回鳴らして、相手呼び出すためのスイッチです。鳴らし終わると受信待ちになります。

バッテリーパック (3.6V 700mAh)

UPB-1

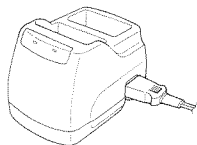
このバッテリーを充電し、本体に入れて使います。



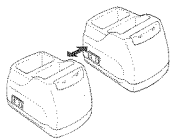
ツインチャージャー

UBC-2

いろいろな使いかたができる充電器です。充電時間は約8時間です。



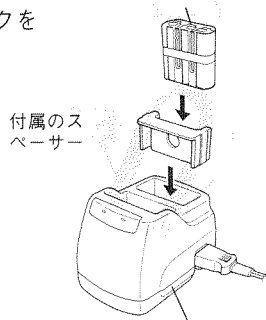
* チャージャーは、単体でも使えますが、このように連結して使うこともできます (10個まで)。



充電のしかたは3通りあります。

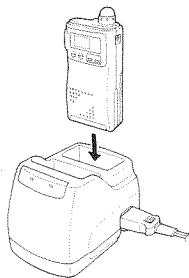
■A

バッテリーパックを充電するとき



■B

バッテリーパックを無線機に入れたまま充電するとき

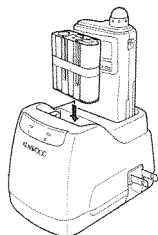


ご注意
付属のスペーサーは使いません。

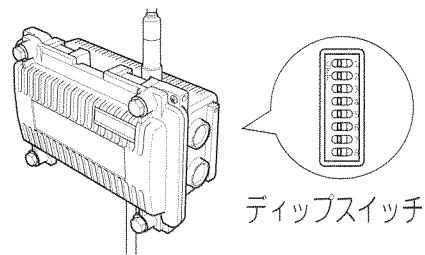
■C

バッテリーパックと無線機を両方充電するとき

ご注意
バッテリーパック単体を充電する側には、付属のスペーサーを入れます。(A参照)



送受信部内の大きなプリント板の裏面に、ディップスイッチがあります。このスイッチは必要に応じて、いろいろな設定ができます。



* ディップスイッチを設定するときは、シャープペンシルなどの先で、スイッチをONにしてください。

スイッチ1/スイッチ2
ハングアップタイムの設定

中継モードで子機の通話が終了後、中継機は一定の時間送信を続けます。これをハングアップタイムといい、これが終わったあと子機の通話が2秒間無いと、中継は終了します。本機ではこのハングアップタイムの長さを次の4つの中から選ぶことができます。速いテンポで通信するときにはハングアップタイムを短かくします。そうすることによって効率良くチャンネルを利用できます。また、通話の間合いが長いときには長めに設定すると不用意に中継が終わってしまうのを防ぐことができます。

スイッチ1	スイッチ2	時間 (秒)
OFF	OFF	0.5
ON	OFF	1.0
OFF	ON	3.0
ON	ON	5.0

スイッチ3
通話時間が終わるときの終了音 (ピッピッ) の設定

通話時間が終わる合図に、音を鳴らすことができます。ふだん使用するときには便利ですが、静かな場所または騒然とした場所では鳴らさない方がよいこともあります。そこで、音を鳴らさない (ON) / 鳴らす (OFF) を選択します。

スイッチ4
受信終了を知らせる告知音 (ピーピー) の設定

中継モードで、子機の中の1つが通話を終えた時点で、中継機が他の子機に通話可能になったことを知らせる (ON) / 知らせない (OFF) を選択します。

スイッチ5
パワーセーブモードのON/OFF切替え
本機が受信待ちの状態のとき、電力の消耗をおさえる (ON) / おさえない (OFF) を選択します。

スイッチ6
未使用です。

スイッチ7
呼び出し番号Bの設定をする/しないの切り替え
呼び出し番号Bを設定する (ON) / しない (OFF) を選択します。

スイッチ8
受信時に呼び出し番号を解除する/しないの切り替え
子機からの通話を受信したとき、呼び出し番号を解除する (ON) / しない (OFF) を選択します。このスイッチをONにすると、呼び出し番号を設定してあっても、同じチャンネルの通話はすべて聞こえるようになります。呼び出し番号は送信相手を選ぶために使います。